

第4回 バズ学習全国研究集会

主題 子どもに学ぶ

～バズこそ自己解放・自己主張・自己表現～

広島県豊田郡豊断立豊川学校 徳森丈人

・<はじめに>

教育の道にたずさわって20年余 そのあいだに 子どもを教えこもう 育てよう 伸ばそう といった教師自身をその基底において教育をみてきたし、そうできるべく 教師自身の研鑽も シセイも 深まりにめつめてきた。しかし、これだけ爆発的な情報量と知識量がふえた今日、それにおいつくべく如何に24時間を たとえ1時間のばしえたとしても それは不可能であると気づいたのは 私のおとあがりであったのか それとも どうまんさが その気づきを遅らしていたのであろうか。

ともあれ 現代教育の変容が叶はれ、自己改革への迫りがきびしい時、それは子どもの変革であり、教師自身の変革であり

子どもの変わりをとらしての地域父母 地域社会の変革といった教育集団の変革でなければならぬと思うのです。

それは いつにかかって教師の変容こそが それらの前むきの変革をもたらしものであると信じるわけです。そして、その変革は教育観の変容をも意味すると思うわけです。

今その変容のあとを 子どもの教育実践のあゆみの中から 子どもに学びながら その一端を申し述べ みなさんの御批正をいたさきたいと思ひます。又、こうしたささやかな実践が世に問える機会のとえられたことをよろこびます。

<1> 人間関係を大事にする

教育は知識の伝承であるとか、子どもの中なる可能性をひき出すものであるとかいろいろと論議されているが、私は、教育のいとなみには、なにはおいても、まず心と心との結びつきが、何よりの要諦であると思います。

いかにすばらしい教育機器がつくられたとしても、それはあくまでも、教師の指導での効率化のために、有効、適切に活用されるべきものであって、教師にとってかわれるべきものであってはならない。

それは、導くもの、導かれるもの、これらの両者の心の結びつきといった人間関係こそが、すべての教育採用の出発点でなければならぬと思うからです。

その結びつきは、人間的な教師の生き方の中に、サマの間注のブツケあいの中でつくられていくものだと思います。私は、それを、子どもの生活日記指導の中に求めつつ

けました。

子どもも、その記録の中に、さまざまな人間的な苦悩なり、く間注のめざめが表現されてこそ、そうした真の心の交流がなされ、子どもの心のふしかりみつけて、磨き澄まされることが可能になると思います。

自己表現は、自分をみつめるむねよりの表現的な方法のひとつであらうと信じるからです。そういう自己表現の機会が、自己解放への道でもあるし、バス学習の基盤でもあると思うわけです。

バス学習の成果のひとつには、やはりこうした自己表現が可能となることであらうと思う。なんでも話せる自由な雰囲気となんでも聞いてもらえる許容のある学級集団なり教育集団とならない限り、変容の起点も、変容の方向すらも、みつけえないと思うわけです。

かかる意味でバス学習は、自己解放のすばらしい学習方

法であると思っている。それは
く関係が結びつきのより
どころがよってしからしむる
ものだと考えるのです。

〈2〉学級つくりをする

人間としての結びつきが可
能となった時点でつぎに学級
つくりへととりこんでいった。
学級集団は 自由と規律が
いる。それは學教であり、自
己規制の場でもあるわけだ。
学級集団の中心がつかや
さがやはり學教本人のもの
とやらなければならぬ。な
がまの課題となり ひとりひ
とりの問題となって提起され
考えられなければならぬ。

ある子どもの日記に

「このごろ学級がやめてえらい
人とはやの人よいうことでさ
へつしているよかに思う。そ
れは、勉強のとき、遊んでい
るときに、えらい人はえらい
人だからだけで っしよにな
って遊んでいるよかに思う。

えらいとかばつたというこ
とでさべつをすることはいけ

ないと思う。人間としては、
そんなことよりも 心のやさ
しいく おもいやりのあるく
といったほうが大せつだと思
う。えらい・ばつたやれつ
きにあるかもしれないし、な
にかの原因でそうや。たのた
から、そんなことではさべつし
てはいけぬと思う。…(MM)

これを学級新聞の記事として
子どもがとりあげた。そのとり
あげには 教師の手だてがあっ
た。即ち 学級集団に引きこも
るものについては、みんなの中で
それらの日記文を読んで話し合
るのである。これらは、同級生
探訪いどつのはきた教師として
子どもの中にとりあげられ学習
課題として、送がされていくよ
である。その反照がつきにある

「学級新聞をみておどろいた。
そんなさべつがあるなんて、で
もえらい人とそうでない人とを
さべつしていることがないとは
いえない。私も 勉強や遊ぶと
きにそんなになっているよかに
す。でも それはいいけぬこと
です。く関係のねうちにはなにも

関係のないことで、えらい人、
ほかの人という者が人間とし
てはつまらないように思える
もっと みんなで... (5.0)
こうしたナマの声が、子ど
ものささやさとしてうまれ、
それが波紋をひろげ、共通課
題となり、共同思考の大きな
うねりの場としてがもたされ
ていくとき、子どもへのひと
みは輝き、思考はより深くみ
がめられ、その深さへの到達は
たかまりを失いつつ、けで、集
団でよかったというよろこび
をとたせることが、可能であ
ると思う。

当然、集団は、その認めあい
正しあい、きびしく修正しあ
い、ときに補いあいをしたと
きに、集団のよろこび、その集
団に所属したという自己認知
がなされてこそ、内容のある
より充実した高次の集団へと
階次を上げていき、進出して
より深い学びの場を創られて
くる。集団での学びの成果
集があると思う。

そうした集団づくりを、つ

ぎの共有課題としていった

く、教科の学びをおさえて学
ぶきびしさを求めた

自己解放につながる自己教
育が、自由にたされることと
併行して、教科のわかりへと
とりこんだ。

教科の指導は、やはり教師
の真実が中心となる。だが、
あくまでも、それは、子ども
の自主性や創造性をうばうこ
うではない。子どもが自らを
現していき、その表現である
ための本能的な指導、表現の
道徳を与えるということに
関

換言すれば、学び方を学ぶ
せるということで、各教科
ール、各教科の基幹的な学習
の流れを身に付けさせること
である。そうした技術的なも
のを、まっすぐさせてお
いて、学ぶきびしさをへととり
こんでいった。

学ぶには、やはり自らのと
りていく心、をわけること
思っている、自分で思考し、
自分で努力していくきびしさ

の中で その結果として知識
がえられるというシセイにも
っていかなくてはならないと
思っている。それは 学ぶキ
ジシサであろう

その学ぶきびしさは 自己
との内面葛藤につながること
である。

「国語のテストをはじめの前
に「学校へは 勉強のほかに
さまりの勉強をしにくる」と
いうことを先生から聞いた。

わたしは そのことばで先
生がこのごろおこっているよ
うな顔をしているわけがわか
ったような気がした。わたし
はさまりがみだれていること
が多くなっていると思った。
チャイムがなっても席につか
ななかったり 学校ニュースを
書かなかったり。わたしたち
一人一人の心がゆるんでいる
のだろう。私たちは 人間だ
から心がゆるむこともあるし
よわ虫の道にはいりこむこと
もある。でも ゆるみっぱなし
になったり、ずっとよわ虫
の道にはいりこんでしまって

はいけないということがよく
わかった。「この世の中にさ
まりがなくなると人間が人間
でなくなる」と先生がいつて
いたこともよくわかったよう
な気がする。さまりというめ
のが 私たちにとってどんな
にたいせつなものか、さまり
のない世界に はいりたくな
いと思った。ゆるみっぱなし
になったり、ずっとよわ虫に
なってしまうとき、そ
こから出してくれ 気がせ
てくれるのは やはり自分の
心のたたがいだろう (M.M)

そのきびしさとは、学ぶシ
セイを自らのうちに捨てること
であると思う。それには、自
らの自己変革がいる。それは
まず 宿題の否定からはじま
った。

「今 夜11時半です。やれ
やれと宿題がすんでコーヒー
をのんでいます。また、あし
たもこんなに宿題があるのか
と思うとうんざりです。

なんでこんなにたくさん
宿題があるのかなあと思いま

した。友達の日記を聞いて、先生がにくたらしくなりました。それに、だんらくをやっ
てこいといっても、どうやっ
ていいのかわからなかった。
だから明日、みんなと考えよ
うと思います。「先生なんで
こんなに宿題を出すのが、理
由を書いて下さい (E・K)

これは、学習が自分の課題
となっていないし、学び方が
身についていない、やらされ
ているという意識が、つよく、
それが先生がにくいとなって
いるのである。

学習の主体化には、個の問題と、
教材内容と、集団との
人間関係が考えられるわけだ
が、個が集団の中では、きり
と位置づけられ、ささえられ
て、学習の方向が見定めら
れなければ、ほんものとはな
らないと思うわけです。

そして、そのことへの返
答として、

宿題だと思っでは、いけま
せん。やらなくてもいいのね
だけど、おれのために、なん

のために、やるのか考えてね
決して親や先生のためではあ
りませんのよ。みんな自分の
ため、自分のものよ (4/14)
と書いてやりました。再三く
りがえして、説くよりも、き
びしくつきはなし。自分の問
題として考えさせたかったか
らです。

つぎに考えたことは、知識
のとりこになるよりは、知識
を生かしてつかえる子と
してやりたい。この考えは、生
活教育にもかかわることとも
なろう。

また、学びとるといふ前む
きの積極性があるこそ、道
はひらける。それは、自己開
発であり、自己創造なのであ
る。

その前むきには、ぶっつかり
あいがあればならないし、
当然、そのぶっつかりあいを
組織しなければならぬ。そ
のために、まずく潤いはだか
になることだ。はだかになる
とは、すなおになることだ。
「わからない」といえること

なのだ。それを教師がハダでうけとめてやることだと思う。みんなの力で、そうした個をささえあい、その相互作用によって集団の高まりが生まれると思う。

そこには あまさもゆるさず、さびしい相互批判も当然なされる。

「国語の時間に新しく俳句をならった。これは はんどうにはじめてならうので学研計画は先生がしました。はしの読んでみるとなにかなんやらさっぱりわかりません。たが少し意味のわかるものがあった。わたしは こんなにさっぱり意味がわからないのにこれから どうやって勉強するのだろうか。わたしひとりだけわからなくて みんなからどりのこされるのではないだろう。など 不安になった。はじめに 先生から出された俳句をみんなで考えてみた「朝がおぼつるべどられてもらい水」という俳句だ。なるほどわたしだけじゃあない。みんな

もなかなか考えつかない……一人手があがった。弓場君だ。弓場君の言った意見についてみんなで考えてみた。先生がいろいろと ヒントを与えてくれる。だんだんすこしずつ手があがってきた。うすうすわがってきたのだ。みんなしんけんな目つきで考えている。一人の人が言った。わたしはピンときた。わかった……ように感じた。それは、いどから水をくみあげるつるさにあさがおのつるがまさつさ 水をくみあげようとしてもたぬた。といても あさがおのつるを切るのもがわいそうだ。それで水をもらいにいったというわけだ。ここに女の人のやさしい気持ちがよくあらわされている。この意見を最後から二番目にいった北森君と、最後にいった向さんがまどめてくれた。そのときわたしはドキドキする心ぞうが やっとおさまった。やっぱりあった。いっしゅんそう思ったのだ。わたしは

うれしかった。みんなわらったり、ため息をついたり うなづいたりして、いままではりつめていた学級の空気が、いっしゆんほくれた。十分開ぬねはってねはってねはりつめてきてそして解決した。この感激はわすれられない。(25)

すはっしいもの創り出す。創造は 現時点の今から、自分にかかわるまわりの刺戟や はげましの中で 自己をみつけ、それにプラスされ変容されていくそのものだと思うわけです。

だから 自己個立がいののです。

教師は 現場実践の中で 授業で語ることであり、教養を介して子どもときひしく対決したときのスガタこそにその生命とよろこびを見出すべきだと思うわけです。かわるシセイにこそ 子どもにとってみかある先生となるてあるし、自ら学ぶよろこびも創りだせると思う。

<4> 教師の位置

それらの子どもシセイ、教師自身のシセイが決まったとき、教師はどうしたか。

私は 教師の今までの座から一歩さがりました。それは 退屈耐なひきさがりではなく、むしろ前むきで 子ども思考の流れを実態を追究めるためのものであったのです。授業の流れを継承たて、授業の深まりを期するために当然考えられることだと思ふのです。

学程権を子どものものでしてやることで 教権を放棄することを意味しない。

それは自らの学ぶきひしさも、自らの責任と自覚においてのみ 授業は深められ、まびしい 自己評価がなされてこそ、つぎの飛躍も前進も約束されるからである。

やはり その評価には、ひとつの課題がいり、目標をもつことが不可欠なのだ。その目標設定について考えてみよう。

<5> 学級目標の設定

学ぶことのきびしさを求めて
自分にきびしく

自分とのたたかいは

うち克とう

わからないことを出しあおう

そして わかるための

みちすじを求めよう。

自分の考えと

みんなの考えとを

ぶっつけあおう

そして

すばらしい自分を創性そう

そのために よく聞こう

じっくり考えよう

すすんで発表しよう

以上は、教室の正面に子ども
との共同討議によって設定し
常掲したものである。

ただこれが 空念仏になら
ぬように 学習の中において
も 生活の中でも いつもこ
れを学級経営の柱とし、相互
批判、反省のよりどころとし
ていった。

やはり目標の具象化が 実
践のあとの評価につながり、
その目標達成がつぎのより高

い目標への基盤となるからで
ある。

毎時の学習においては 予
習課題を子どもにもたせ そ
れが次時の学習の出発として
いったのである

学習には、やはり目標によ
ってきたる子どもの思考のゆ
きぶりがもたらされねばなら
ない。それは ある時は計画
的でもなければならぬ。而
ち 疑問がおこることではな
ければならないと思う。それは
教師が 子どもの思考の流れ
を予想し、その中へ課題を投
入していくことだと思う。

子どもが ～と思った。～
と考えたが どうしてちがう
のだろうと、自己の現在ある
ところから その解決への積
極的な取り組みがおこなわれ
なければ 学習のはじまりは
ないと思うからです。

それらの前提には “わから
ない。かわがってくることか
なければならぬ。でない
それらのとりくみの中で “わ
かった。のよろこびも 自己

変革の認知とほじまらないと
思うわけなのです。

そうした感動のないままに
受身のかまえての学習がこれ
までになんと多かったことが
目標への達成も そうした
手だてと 評価の視点があっ
てこそ可能となると思う。

〈おわりに〉

こうした実践の中でとった
バス学習(とよぶとしたら)
こそ、自己解放であるそして
自己表現であると信じるもの
です。

小学校から中学へとおくり
出すわけだが それぞれクラ
ス通信を今なおつづけている
。やはり 教師のしごとには
初まりがあっても 終わりの
ないのが このいとなみだと
おもうわけです。

ひとりひとりの無限の可能
性を信じて、ひとりひとりが
集団とのかかりの中で生かさ
れていったとき、ひとひは天
空の美しい花をひらくであろ
う。そのときに泣きであった

よろこびを見出すひとりです。

この豊浜の地に バス学習
を通して、そのすばらしい教
育の実践が結実せんとする
とき ともすれば ごうまん
なりがちの私自身、その実践
を世に問う勇気と、自らをと
とめる謙虚さに 心から敬意
をはらい、人が生きているそ
して動いている そのままの
すがたの中に 私自身己をさ
びしく問いつづけて参りたい
と思うものです。

(気解批判)

第4回バス学習全国研究集会

クラブ活動とバス学習

学校を通しての全員参加と集団づくり

広島県豊田郡木ノ江町立南中学校

大川 春 治

1 クラブ活動の存在

人間本来の感情として、自分が興味、興味をもつ目的に対し、何らかの働きかけをせよと考えている。身体全体を動かして活動する者、幼思時代から特別に興味を示していた技能的な面の一層の発展を願う者、等々多くの生徒が種々のクラブを自発し活動を続けている。学校生活の中で、クラブ活動のしめる割合は非常に高く、生徒の意識もクラブを通しての理解が大きいウェイトをもつようである。学習活動は、学級、学年ごとの集団であるが、クラブごと学級や学年、住居地域の関係をとえて、広い範囲の、又上、下級生が一体と肩つに素晴らしい活動集団である。

2 生徒会活動とクラブ

クラブは生徒会活動の中で最も重要なものの一つである。本校は昭和45年度までは、各先生、生徒共に、体育部と文化部の二つに所属し、文化部の活動に一日あてていた。これでは文化部の活動が時間的にも少いし、一人二役の形では、先生にも、生徒にも負担が大きいので、生徒会からの要求もあって、昭和46年度から一人が二クラブという組織に改めた。これは年々生徒数の減少、学校施設の増設に伴って、クラブの数を減らす必要が生じた。

生徒の要求として、男子にサッカー部、女子に庭球部を設けてほしいとの意見がかなりあるが、グラウンドの広さ、指導者の数に限度があって、グラウンドの隅みにサッカーのゴールを置いて練習が少しでもできるように配慮し、庭球は学級活動の時間に女子の活動をしている。本校の悩みは、グラウンドが狭いことと、生徒数が少ないことである。

会部	班	男	女	先生	活動場所	用具
生徒部	庭球	20		校長	南川グラウンド	ラケット個人もち
	野球	28		大川	〃	バット個人もち
	卓球	10		伊藤	理科室	ラケット個人もち
	海洋	12		植木	海上	カッター3隻
	バレー		18	教頭	本校グラウンド	学校、生徒会
文化部	ソフト		26	国本	南川グラウンド	グローブ個人もち
	美術	5		井口	美術教室	生徒会
	技術	4		新井	技術教室	〃
	家庭		10	村上	衣版室	〃
計	7	54				

3 クラブの特徴

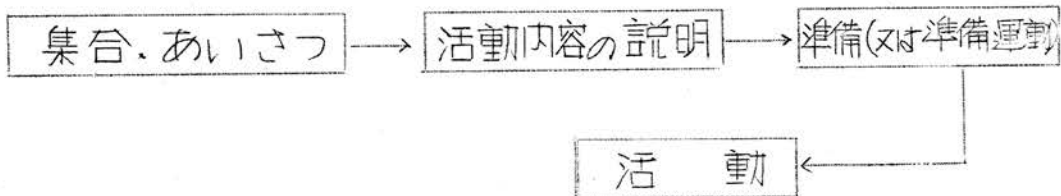
大人の社会にも、生徒の社会にも集団には独自のものがあって、各々特質をもっている。本校のクラブ活動は、授業後や休日に集って行う課外クラブが中心で同好会形式のそれは、一応クラブ活動と考えていい。クラブ活動には種々の目的はあるが、特異の上で次の三つが考えられる。

- ① 年間を通しての活動で計画性を養つと共に強健な肉体と健全な精神力の育成につとめる。
- ② クラブ活動の集団は、自発的に参加し居る者の集りであつて、その活動が楽しめる者の協調の場である。
- ③ 上級生と下級生が同一の目的のために、協力しあつて、縦の人間関係が結び、礼儀と節度を重んじながら、向題にとりくむことができる。

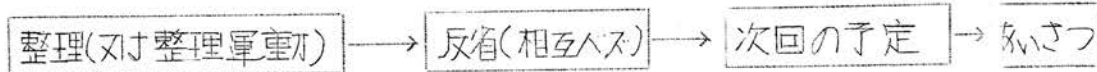
4 クラブの運営

新入生は、入学式後の一ヶ月間、クラブ活動の準備期間があつて、その間各クラブの活動状況をみたり、自分でやってみたりしながら意志を決定する。クラブの運営はキャプテン、副キャプテンが中心に於いて統制のとれに規律のもとに進行されるが、怪我や不測の事故が未然に防げるように安全を確認することが大切であり、指導の先生は時間のとれる限り生徒と共に活動している。

① 活動のはじまり



② 活動の終わり



活動に際し、注意し、反省し、振り返らなければならないことは、活動の前に行なう相互へスを行ない、内容、内容を適確につかんで、全体の動きがスムーズになるよう配慮すべきである。

クラブ活動は暑い時、寒い時をとわぬ年間の活動であるから楽しいことばかりではなく、きびしさも要求されるわけであるが、そのきびしさをのり越えて規律ある集団をつくと同時に人間関係を育てなければならぬ。

第4回バス学習全国集会

主体性を高める学級づくりのあり方

広島県豊田郡豊浜町立豊島小学校

坂本卓夫

(1). はじめに

(2). 学級の実態

1. 人員構成
2. 話し合い活動能力
3. 仲間関係

(3). 集団づくりの焦点

1. 基本目標
2. 具体目標
 - ① 活びつな話し合いの場をすること。
 - ② 協力する心を育てる

(4). 教科学習の場の変革

1. 学習過程の改善

- ①. 自主的な学習をめざすために
- ②. 共同的な学習態度の育成
- ③. 子どもの発言を尊重する

(5). 生活の場の変革

1. 学級集団の組織

2. 班編成

3. 日直活動

(6). まとめ

担任教師の立場と復習バス

広島県豊田郡豊中学校 反田詔三

1. 復習バスを取り組むにいたった経過

(1) 中学校での学級担任の立場を整理して、一人一人の生徒の進路保障を確かなものにさせるためには、どんなことに取り組めよいかを反省してみる。

① 生徒たちは、さまざまな生活基盤と実態を基点としていろいろな経験をもっている。それを、学校において知性的に分化された諸領域の分野で系統的に学習した成果を統合し、新たな学力に再組織させる。そして一人一人の生徒に自らの活動をとおして自己実現がはかれるよう個人を励まし、個々がなり合える集団をつくらせる。このことが学級担任としての基本である。

② しかしながら、42人の生徒の教科担任から送られてくる情報や成績を手にして、A君の数学は、Bさんの英語は、もう少しなんとか取り組む手だてはないものか、そっと呼んで話を聞いてやったり、注意をしてやったり、励ましたりする。しかし、幾人の生徒が自己の課題を克服していつているか、担任のこうした営みにもかかわらず、その成果には期待が少ない。どこにその要因を見つけたらよいのか。

③ ことに、中学校三年ともなれば、進路の問題をはさんで不安きみになり、日か進むにつれてあせりと劣等感、時には孤独感にみまわれ、活力を失うだけでなく自己実現に立ち向かうという課題から逃避しようとする傾向の生徒も生じる。こうした実態を克服させることは何としても重要である。

④ 上述したような課題や問題点とかかわって、本校で行なわれている教科の学習の中でも、生徒個々の欠落部分への対処のしかたを概括してみると、およそ次のようである。

(1) 学習 → テスト → 得点を見ておわる

(2) 学習 → テスト → 欠落部分の発見 ——

→ (a) ひとつのをうつす ---- 大部分

(b) ひとつに聞き直す ----- 一部分

(c) 自分で調べ教師に質問 --- ごく一部分

この実態を克服させるために

(1) (2)についてはその無価値なことを指摘する。

(3) (4)の(a)の場合も無価値であると一斉に指摘する。

(ホ) (ロ)の(b)(c)をグループで再学習できるようにむ指導。

(2)復習バスへの取り組みの決意

上述の過程のなかで、いかに個人が自己の欠落部分を見出し、克服しようとする意欲が芽生えても、そこに、それを受け入れ、受けとめる個々のつながりがなければ、単に「教えてもらう — 教えてやる」といったできあがっている知識の皮相的なやりとりで終わり、上述している(ロ)-(a)のタイプと殆んど変わりがなく、ほんとうに理解した、少しでも自分なりに思考の手だてをしたという再訓練にならない。それだけでなく、もっと重要なことは「あの人はいつも聞く」「あの人は之らい人だ」という、知識の量だけを基準にして優と劣とを互いに意識してくる。このような「かたより」を根に内省したグループや学級が 相互に自己実現をはかろうとする高まりをうむ集団とはなりにくい。

このようにわれわれは現実におちこみ、また、おちこみやすい欠陥をもっている。これを克服するために、私の学級に復習バスを創造しようと決意した。

2. 復習バスにとりくむ基本的考え方

- (1)低位な状態におかれている生徒、疎外状況にある生徒がもたらされている問題をとらえ、それを教育の課題としてどう位置づけるか、この課題を一部の生徒の課題としてとりあげさせる。
- (2)そのために、生徒が自分を投げかけ、投げかけたものを自分たちの問題とする集団、このような集団に迫るにはどうすればよいかを中心に考える。
- (3)もっとも、平素の授業、活動の中で生徒は自然発生的にバスをしたり、バスをしたという要求がある。— しかしながら、現実には 教師は、何らかのなたちでこの芽を摘んでいた。この反省にたつて — この要求を価値あるものにどう組織するか。
- (4)こうした考え方を基盤にして、生徒の学習を全領域で保障していくのは当然のことながら、学級活動という場で、学習のトレーニングとして、学校体制のなかで毎日30分の時間を設定し研究をすすめる。

3. 復習バスへ取り組む

(1)班の構成

上述の実態と構想のなかで、生徒に「話し合い」をもっと高めるにはどうしたらよいかと投げかけた。しかし、生徒からは建設的な意見はなく、単に席替えをして

もらいたいということであった。いろいろと話し合った結果をまとめ、条件として次の三点をきめた。

- ① クラスの中からバス長を7名推選し、男女の人数の割り振りにはこだわらないよう選ぶ。
- ② 班の人数構成は男女同数で計6名とする。
- ③ 班を7つにする。それに推選したバス長を配置し、各自好きな班を選んで調整する。

(2) 学習のしかたに関するオリエンテーション

一斉に、テストの結果を資料として

- ① 大多数の生徒の欠落部分を取り上げ、平素の学習のなかで バスの時間が与えられても、バスが消極的であること。
- ② 部分的な欠落— 問題のとりちがい、解答の順序のちがい、単位・けた数のちがい等を指摘し、これらを克服するために必要な平素の学習態度に相互の説明を加え、また自己の気づき、意見かじゅうぶん出しあわされることのたいせつさ。
- ③ テストの全科目の成績が低位な場合の克服のために、この点が放置されることは互いに許さないように
(a) 一つでも克服しようとする自覚。
(b) メンバーでひき出すような積極的なはたらきかけの訓練。
- ④ 学習の手順を明らかにする。

(a) テストの価値と方法

テストは問題発見整理のための「フルイ」であり、問題点を明らかにするものであること、さらに 自分の意見や説明をすることは、自己テストの最も即時的ですぐれた方法であることを理解させる。

(b) 学習の順序

問題をなげ出す → みんなでやる → まとめて説明する、という3つのステップとリズムである。いかえれば

問題発見提起 → バス → 確認即時評価 → 問題の再発見 →
→ 問題提起 → バス → のリズムである。

生徒にこのリズムをわかり易く三段跳びになぞらえて

ホップ → ステップ → ジャンプ
(ふみきる → たくわえる → 飛躍)
(問題提起 → バス → 確認、評価)

と説明する。問題は思いきって投げかけ、多くの人の意見を統合して説明し、確かめて解決の方向へむかうことを理解させる。

(3) バズ長会

- ① 今までの学習のしかたの点検
バズ長自ら「わかったつもり」「わからない部分をあとでやるつもり」で積んでしまっていたかを点検しあう。
- ② 「つもり」と「積み」の積 = (つもり)² の学習をどのように克服するかバズする。
- ③ そのためには現在の問題点を整理して、バズ長はどのようにしたらよいかバズする。
 - (a) 班で、問題を出す教科の係をきめたらどうか。
 - (b) 問題が出されたら、順番に説明したらどうか。
 - (c) みんなが行きつまった問題は、バズ長が教科の担任に提起したらどうか。
 - (d) 班で解決した場合、問題を出した人がまとめの説明をする。じゅうぶんでない時はバズ長が補足したらどうか。
 - (e) 一つの問題について、メンバー一人一人が何らかの発言をするよう支えあったらどうか。
 - (f) 発言が脱線する場合、バズ長は早くもとにもどし、発言の少ない人に発言をすすめたらどうか。

4. バズグループにおける活動の観察

(1) 対象と方法

3年 42名、机間巡視をして発言の流れを記録した。

(2) 図式の記号

- | | | | |
|----------|-------|----|--------|
| ◎ 男子バズ長 | 発言の程度 | —— | 話しかけ |
| ◎ 女子バズ長 | | → | 一方が積極的 |
| ◎ 男子メンバー | | ↔ | 相互が積極的 |
| ○ 女子メンバー | | | |

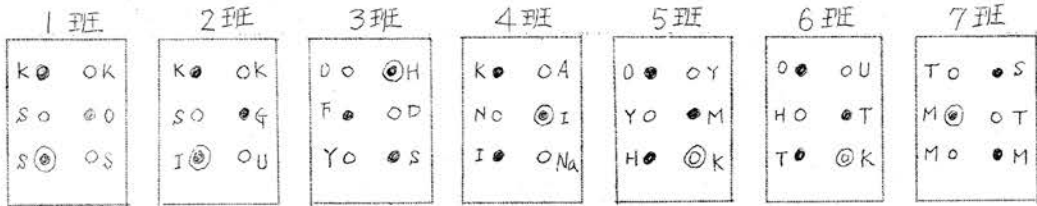
(3) コミュニケーションの型について

厳密なものではないが、感覚的に分類した。

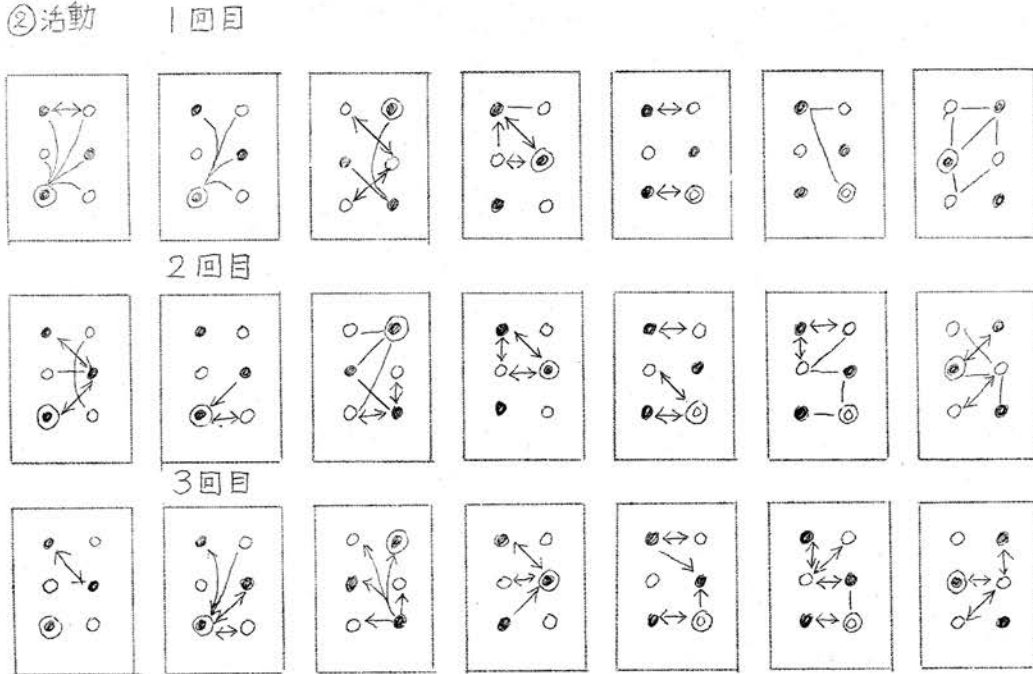
- ・バズ長説明型 (バ) バズ長の説明
- ・相互反応型 (相) メンバー間相互に

。パネル型 (パ) 一部の話し合いを他のメンバーがききとどめる程度
 (4)活動状況

①班構成



②活動



③活動の整理

	1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班
1回	パ	パ	相	パ	パ	パ	相
2回	相	パ	相	パ	(相)	相	相
3回	パ	相	相	(相)	相	相	(相)

※ (相) はパネル型になりがちである。

(5)活動の分析と考察

- ① 回を重ねることに相互反応型に移行した。
- ② パネル型は回を重ねても実在する傾向が強かった。この要素として、次の視点を明らかにする必要がある。
 - (a)メンバー間の知的レベルの差によることはないか。
 - (b)提出問題の質の差で、一部のメンバーが理解できず、聞きおくに止まるのではないか。
 - (c)説明者の説明のしかたに困難な点があるのではないか。
 - (d)メンバーの情緒的なつながりに欠陥はないか。
- ③ 総合的に見た変化
 - (a)相互反応型、あるいはそれに近い話し合い活動を見ると、話し合いの中核がバス長ではなく、固定化していない。
 - (b)話し合いの中核が問題提出者となっていることが相互反応型に多く見られる。
 - (c)パネル型のなかでも話し合いの中核は問題提出者になっていることが多い。
 - (d)パネル型では発言者の発言する時間が長い場合が多い。
 - (e)5班のようにメンバーの性格が内向型であると、班の分裂することはないがパネル型になり易い傾向を示す。

5. 復習バスの活動を通して学級担任は何を得たか

- (1) 形式を指導しても中味を高めることはできない。学習のしかたをつかませるためのスタートとして、形式はたいせつである。が、いつまでも形式にとらわれたり、その形式で中味の点検を忘れていると、マンネリ化やメンバー間の分裂を生じてくる。学級担任として関与できる中味とは、どのように発言が進められ、その中核が移り変っているか、進展を阻害する要素は何かを観察によってつかみ、その問題をバス長会、各グループなどに提起してクラスや該当グループで克服創造させるよう配慮することである。そのことなくしては、一部の生徒の復習はできても、復習バスを通しての教育の創造はおぼつかない。復習バスは、復習させる方策ではなく、生徒の学力を高め 進路を保障する教育の営みであることを知った。
- (2) グループや学級のなかで発言しないと低位性を克服することの困難であり、疎外される傾向が生じることをどのように課題として把握したらよいか、という問題を意識した。

6. 新しい課題とは何か

(1) 学習から疎外されている生徒の事例と分析

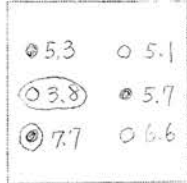
① どの回でも発言しなかったSさんとNaさんの場合(対照的にNさんをあげる。)それぞれの背景

生徒	性別	IQ	成績	家族内での位置	性格その他
1. S	女	112	3.8/10	兄弟4人のうち3番目 父母は留守がち	内向的。無口。おっとりしている。やや消極的
2. Na	女	102	4.1/10	兄弟4人のうち、かなり年令がはなれている末娘	明るく、必要に応じてはっきり発言。物事によく気づく。
3. N	女	86	2.3/10	留守がち。3人兄弟のうち長女。家庭のさりむりする	外向的。やや粗雑。思惑ことは言う。世話型。

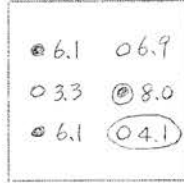
* 成績は10段階平均を示す

グループ内での成績の分布

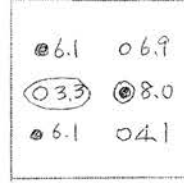
1. Sの場合



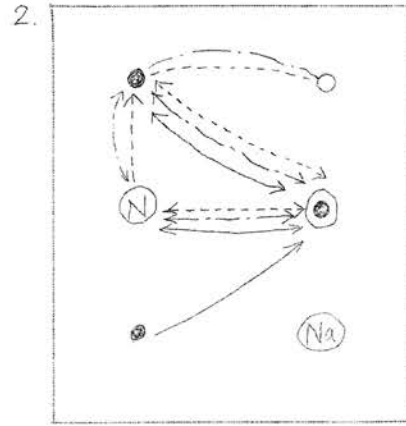
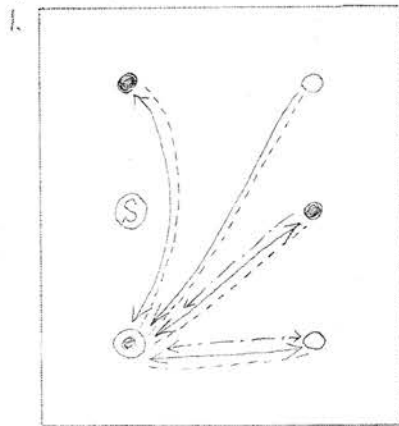
2. Naの場合



3. Nの場合



コミュニケーションを1~3回総合してみる



* - - - - 1回目
 * - - - - 2回目
 * - - - - 3回目
 * ——— 7

事例1. Sさんの場合

性格からくる無口さ、成績も他のメンバーとくらべ、やや低位におかれている。自らも、メンバーからも、話しかけたり、話しかけられたりしていない。

事例2. Naさんの場合

性格や家庭での活動を父親から聞くと、兄や姉とくらべると学校の成績は劣るが、人情味は細やかで、家事も進んで手助けをする。たとえば、父親が酔って帰った時親身になって世話をしてくれるのはこの子だけです、という程である。

さらにNaさんについては次のような積極的な取り組みがあることを特筆したい。Naさんが2年生の時のことである。同じクラス、同グループのメンバーのひとりにFさんいた。Fさんとは——幼時、小児ぜんそくのために病弱、そのため小4の時休学留年、中学校に入学、通学距離7kmもあるためだけではないが、再度欠席がちで留年、いろいろ取り組んで登校しはじめた、——その時点でNaさんとの出会いがはじまった。まずFさんにとびこんでいったのはNaさんであった。担任教師とNaさんのグループで、欠席がちなFさんのところへ7kmもある道のりを、放課後2、3人連れだってたびたび訪問、時には電話で、時には外へ出たからないFさんのために弁当を作って誘ったりした。なかでも、Fさんの祖母が、本人(Fさん)が学校に行かないのでみんなにめいわくをかけるという叱つたり、あんたがたももう来んぞほしい、うちの子が学校へ行かないので世間ていさ悪くなるばかりだ、などと拒否された事にもめげず、祖母に協力をしてくれるよう説得するなど、力量のある生徒である。

——学習場面のコミュニケーションのなかからはじき出されているNaさん、くらしの中で積極的に活動するNaさん——このNaさんが投げかける波紋は何か。教師(学級担任と教科担任という二面的見方の矛盾か) 学校、学級(生活・学習と分離させた見方) 教育(知識・人格との不統一)の本質を問い正してやる課題ではないか。

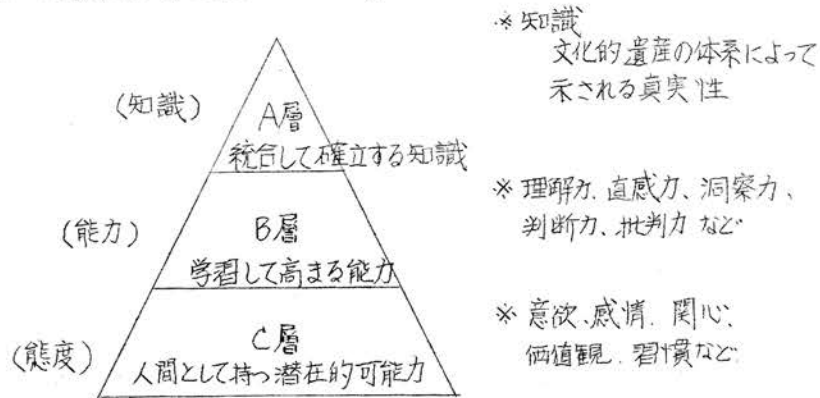
事例3. Nさんの場合(知的な低位性を克服しようとする)

復習バズに取り組んで特に目につくのがNさん。現状では他とくらべたらさほど低位性が何上しているようには思えないが、2年時とくらべると成果は認められる。評して評しがたい態度、学習しようとする積極性は性格的な要素もあるかな、生き生きと芽をふさだしはじめた。

(2) 教師が教育をささえる課題

① Sさん、Naさん、Nさんをはじめ生徒に答える教師のもつ学力観

学力の見方、考え方、いろいろとあろう。学力の見方を立場によっては案外都合主義、便宜主義にとらえられていて、そのためいろいろな混乱、トラブルを生じているむきもある。もしこういうことが共通点として許容されるなら、あえて教育的にみた学力観とでも表現したい。フルナーの学力観を引用して、今後の教育課題の取り組みの基盤としたい。



② Sさん、Naさん、Nさんをみなおす

この学力のものさしにあててもう一度 S、Na、Nさんをみなおしてみよう。

- ・ Sさんの場合 — SさんのA層の部分かたとえ38しか表現されていないとしても、彼女のもつB層を高める学習の場(機会と手だて)を開拓させたか。さらにはC層に秘められている可能性をゆさぶらせたか。逆に言えば、その躍動を抑圧しているものをどんな手だてで取り除こうとしているか。
- ・ Naさんの場合 — 躍動しかけているC層かB層にまでおしあけられず、A層の深まりを持たせない要因は何か。それをつかませる手だては何かを考へることではないか。
- ・ Nさんの場合 — さらに学習を高め持続させる方向を自覚させることではなからうか。

③ 人間同志の触発をはかる

バス学習が自己を理解し、自己実現の道を求め、けわしさを克服し、自己を創造していく主体を育成することにその目標をおいている限り、生活バスであれば復習バスであれ、その基底とする教育を進展させる限りにおいて、人間同志

が生で話し合い、互いに触れあうことがなければならぬ。そのために

④カウンセリングの位置づけ

カウンセリングの持つ意味は「生徒をして自己自身を理解せしめ、新しい方向をめぐり積極的に歩み得るようになること」にある、といわれている。

ということは、自己が自分自身によって肯定される(自己評価)と同時に、周囲の人々によっても許容される(相互承認)ような行動を展開するようになることである。そのためには、カウンセラーがカウンセリングするとか、カウンセラーが上述の状態にさせるのではなく、何についてカウンセラーとクライアントになるかが重要な要素である。

したがって、教育活動の中では

教師 —— 生徒 , 生徒 —— 生徒 , 生徒 —— 教師
の接触のなかで触れあえる関係こそ重要なことである。ことに教育は、将来に向っての進路を保障する重大な仕事であれば、科学的な考え方と見方によって展開されなければならないと思う。

第4回 全国バス学習研究大会

町内バス研究発表資料

1972-8-2

広島県豊田郡豊浜中学校

目 次

- 資料1. 生徒の家庭学習状況
2. 進学, 就職状況
3. 新聞, ラジオ, テレビに関する調査
4. 昨年度のアソケート(対生徒, 対父兄)
5. 町内バスに関する生徒の作文
6. 教科委員・バス長, 校外自治委員長の作文
7. 町内バス個人面接記録
8. 教師の気づきシートより
9. 町内バス班日誌の形式
10. " " " " 父兄観察シートの形式 ---- 書いてあること
11. 生徒の作製した町内バスの問題
12. 教科委員長
13. 教師の出席ローテーション表

資料 1. 生徒の家庭学習状況

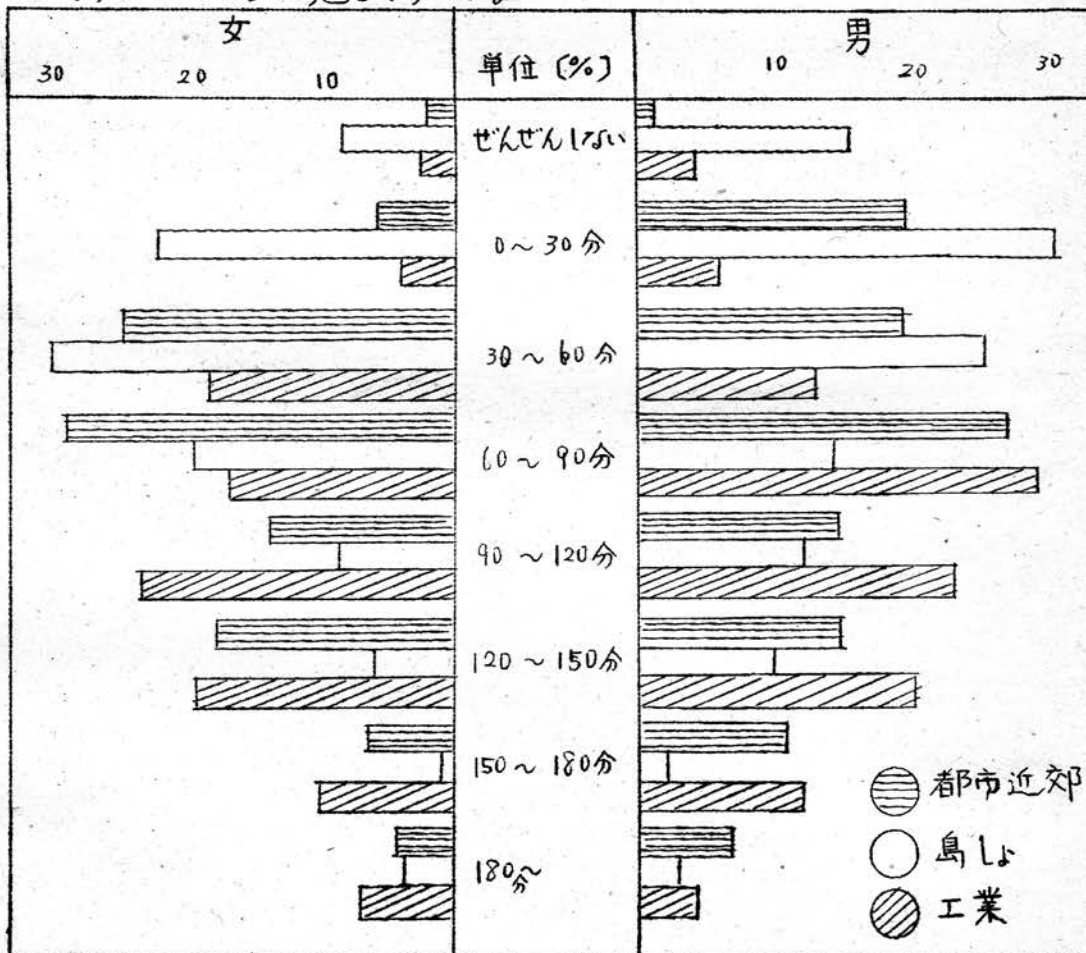
(注) 以下にあげる資料は昭和46年に、広島県教委が「少年の生活行動調査」として行ったものである。

(1) 調査範囲

- ・都市近郊地域 ----- 河内町・坂町
- ・島しょ地域 ----- 福山市(足島)・豊浜町・倉橋町
- ・工業地域 ----- 大竹市・福山市

(2) 小学校5年～中学校3年までの少年1,200名を対象とし、学年別にランダム抽出によって決定する。

◎ 家庭でどのくらい勉強するか。



この調査はその他いろいろ項目をあげているが、その結果を簡単に紹介しておこう。

h. こずかいについて

- 島しょ地域に決めてもらっていないものが多い。また、もらっているものについては、毎日というのが多い。
- 都市近郊、工業地域に月ぎめが多い。

h. 少年団体加入状況

- 島しょ地域は都市近郊や工業地域にくらべ子供会加入率が低い。
- 島しょ地域は少年団体の組織化がおくれている。

c. 通学時間について

- 都市近郊、工業地域が比較的時間がかかっている。

d. 家に帰ってしたこと

- 島しょ地域の女子はよくてつどいをしている。
- 島しょ地域では塾に行くのが少ない。(塾のたぐいが少ない)
- 外での遊びが多いのは島しょ地域である。比較的遊び場所には恵まれている。

e. ひとりで遊び

- どの地域でもスポーツ的な遊びが多い。
- 読書は、工業地域、都市近郊で多く、島しょ地域ではマンガが多い。

f. おもな遊び相手

- 島しょ地域では下級生、上級生と遊ぶのが多い。

g. 話し相手

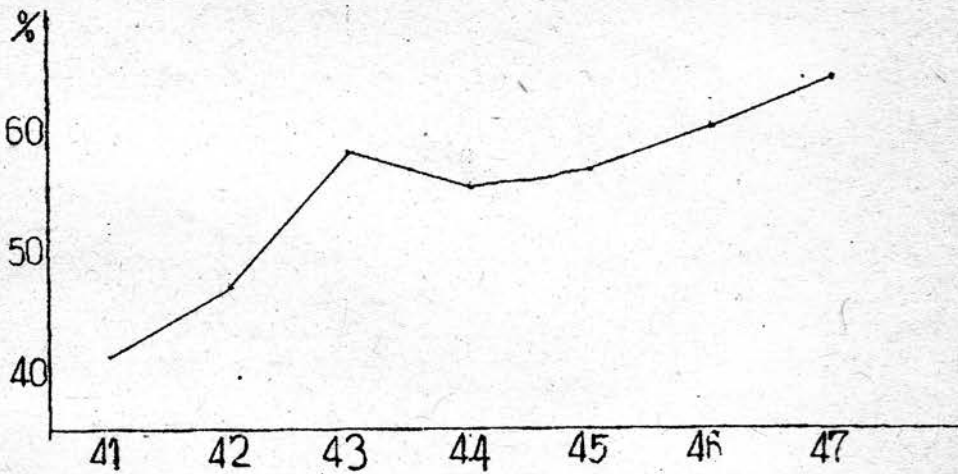
- 島しょ地域の男子の話し合いが少ない。

h. 相談相手

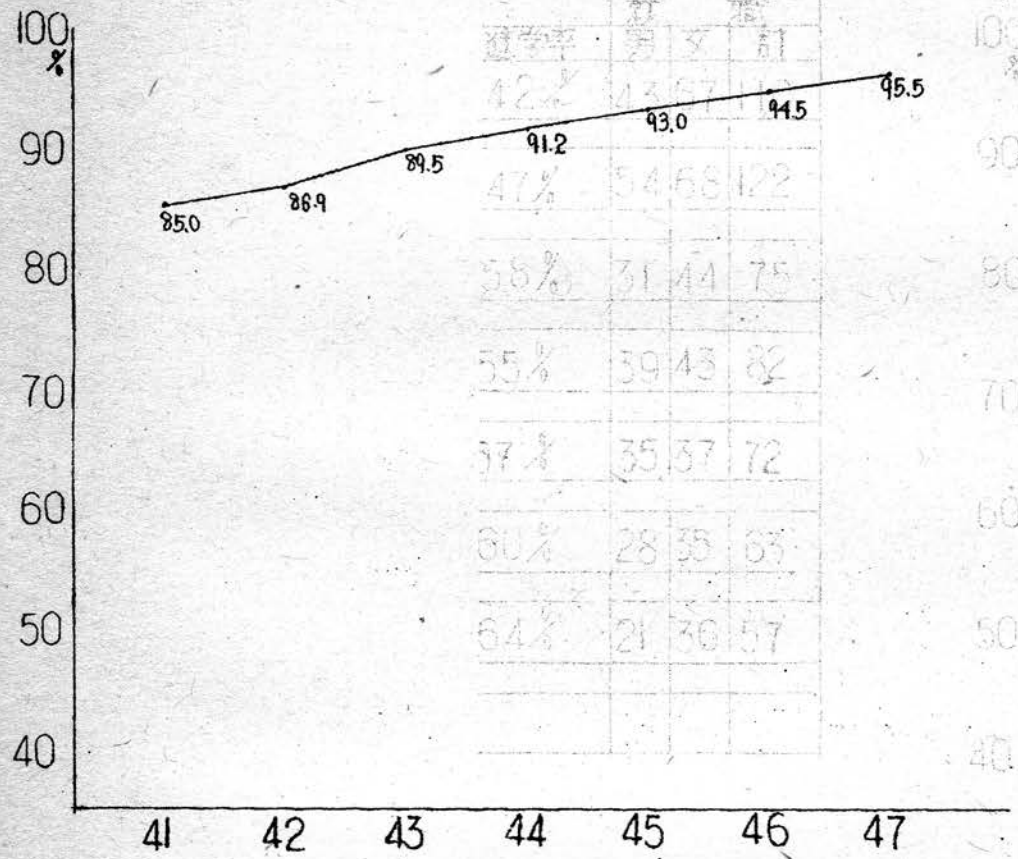
- 島しょ地域では両親への相談は少なく、友だちへの相談が多い。

資料.2 進学率の年度別推移(全日制)

年度	卒業生数	公立			私立			合計		進学率	就職			
		男	女	計	男	女	計	男	女		計			
41	189	81	107	23	15	39	15	25	40	79	42%	43	67	110
42	232	110	122	29	28	57	31	22	53	110	47%	54	68	122
43	179	90	89	34	26	66	29	15	44	104	58%	31	44	75
44	182	93	89	35	54	69	19	12	31	100	55%	39	43	82
45	169	90	79	35	27	62	20	15	35	97	57%	35	37	72
46	158	85	73	34	30	64	28	8	36	100	60%	28	35	63
47	158	73	85	31	44	75	21	5	26	101	64%	21	36	57
48	139													



広島県全体の進学率



広島県全体の進学率



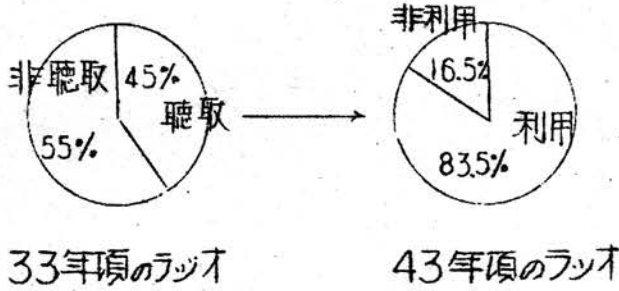
別

進学率	男	女	計
42%	43	57	100
47%	54	68	122
58%	31	44	75
55%	39	43	82
57%	35	37	72
60%	28	35	63
64%	21	30	51

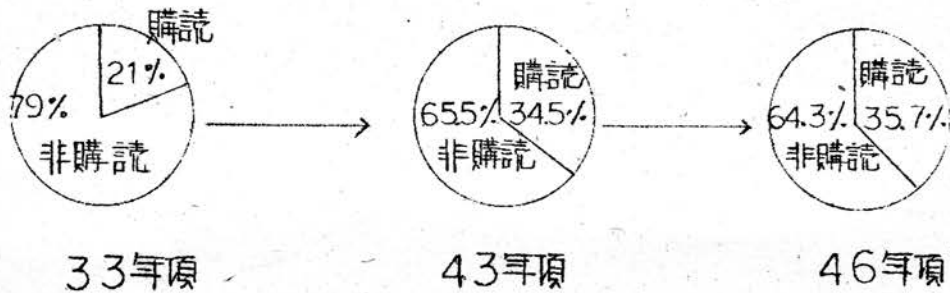
資料 3

新聞, ラジオ, テレビについて

1. ラジオの変化



2. 新聞の購読状況

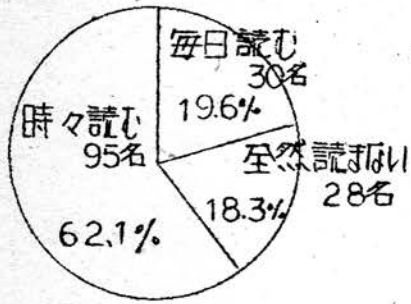


3. 新聞に関するアンケート (46年度対3年生)

1. あなたの家庭では新聞をとっていますか

クラス	大浜		立花		山崎		川の浦		内浦		斎		合計	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ		
A	1	10	2	3	1	3	13	5	2	0	1	3	2	
B	1	11	2	2	1	4	14	2	3	0	0	3	1	
C	1	20	0	1	0	5	15	2	4	0	0	3	0	
D	1	12	1	0	0	7	13	3	1	1	0	3	0	
E	0	10	1	2	0	4	17	4	2	0	0	3	1	
計	4	63	6	8	2	23	72	16	12	1	1	15	4	

2 あはには新聞を
読んでいますか。



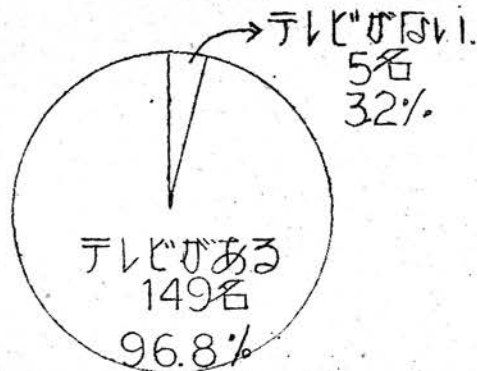
3 あはには新聞がすらすら
読めますか



4 あはには新聞のどこを、よく読みますか。

	ニュース	スポーツ	娯楽	テレビ番組	その他
男子	30	49	9	60	13
女子	42	16	11	51	14
合計	72	65	20	111	27

4 テレビについて。(46年度3年生)



(2) 大浜・立花 対生徒調査

対父母調査

1. 町内バスはよいと思いますか

	1年生	2年生	3年生
はい	10	1	8
いいえ	2	7	7
わからない	3	3	3

2. 町内バスに参加するのは楽しいですか

	1年生	2年生	3年生
はい	8	1	4
いいえ	5	5	8
わからない	4	5	6

3. 町内バスになぜ参加しないのですか

	1年生	2年生	3年生
おもしろくない	1	0	0
学習がわからない	0	0	0
やっても意味がない	1	1	0
友達がいらないから	0	0	0
めんどうくさいから	0	2	2
ばかにするから	0	0	0

4. 町内バスをこれからも続けたいと思いますか

	1年生	2年生	3年生
はい	7	1	6
いいえ	3	5	5
わからない	4	5	7

1. 町内バスはよいと思いますか

	1年生	2年生	3年生
はい	4	4	7
いいえ	0	0	0
わからない	0	0	0

2. 町内バスのどこがよいと思われませんか

	1年生	2年生	3年生
よく勉強するようになった	0	2	0
生徒達もなかよく協力して勉強するのがよい	4	1	4
先生との人間関係が出来た	0	0	1
生徒が理解出来たように思う	0	1	3

3. 町内バスのどこが悪いと思われませんか

	1年生	2年生	3年生
勉強しない	0	0	1
以前と変わらない	0	0	1
さわりばかりいる	1	2	2
時間のむだで意味がない	0	0	1
参加しない生徒がいる	2	0	1

4. 生徒達の地域内での行動よくなったようですか

	1年生	2年生	3年生
はい	1	1	3
いいえ	0	0	2
わからない	3	3	3

(3) 山崎 対生徒調査

対父母調査

1. 町内バスはよいと思いますか

	1年生	2年生	3年生
はい	4	0	1
いいえ	3	5	10
わからない	3	6	10

1. 町内バスはよいと思いますか

	1年生	2年生	3年生
はい	7	6	2
いいえ	0	1	0
わからない	1	0	1

2. 町内バスに参加するのは楽しいですか

	1年生	2年生	3年生
はい	4	1	0
いいえ	4	8	11
わからない	2	2	10

2. 町内バスのどこがよいと思われるですか

	1年生	2年生	3年生
よく勉強するようになった	0	0	0
生徒達がなか良く努力して勉強するのがよい	6	4	2
先生との人間関係が出来た	0	0	0
生徒が理解出来たように思う	3	2	1

3. 町内バスになぜ参加しないのですか

	1年生	2年生	3年生
おもしろくない	1	0	1
学習がわからない	1	0	0
やっても意味がない	0	1	1
友達がいらないから	0	0	0
めんどうくさいから	2	0	0
ばかりにするから	0	0	0

3. 町内バスのどこが悪いと思われるですか

	1年生	2年生	3年生
勉強しない	1	0	0
以前とかわらない	2	0	2
さわりばかりいる	1	1	0
時間のむだで意味がない	0	1	1
参加しない生徒がいる	0	2	0

4. 町内バスをこれからも続けたいと思いますか

	1年生	2年生	3年生
はい	5	1	1
いいえ	3	5	7
わからない	2	5	13

4. 生徒達の地域内での行動がよくなったようですか

	1年生	2年生	3年生
はい	4	2	1
いいえ	3	0	0
わからない	2	4	2

(4) 小ノ浦 対 生・徒 調 査

対 父 母 調 査

1. 町内バスはよいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
は い	28	6	15
い い え	33	46	46
わからない	21	31	25

1. 町内バスはよいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
は い	12	11	13
い い え	0	5	0
わからない	3	9	13

2. 町内バスに参加するのは楽しいですか。

	1年生	2年生	3年生
は い	26	9	17
い い え	32	53	56
わからない	24	19	13

2. 町内バスのどこかよいと思われますか。

	1年生	2年生	3年生
よく勉強するようになった	1	1	5
生徒達がなか良く協力して勉強するのがよい。	11	6	10
先生との人間関係が出来た。	2	4	5
生徒が理解出来たように思う。	1	4	0

3. 町内バスになぜ参加しないのですか。

	1年生	2年生	3年生
おもしろくない	29	21	26
字書がわからない	5	7	2
やっても意味がない	2	6	9
友達がいないから	1	1	1
めんどうくさいから	6	11	10
ほかにするから	1	3	2

3. 町内バスのどこか悪いと思われますか。

	1年生	2年生	3年生
勉強しない	2	0	1
以前とかかわらない	3	12	7
さわりばかりいる	8	6	8
時間のむだで意味がない	1	2	1
参加しない生徒がいる。	4	9	7

4. 町内バスをこれからも続けたいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
は い	29	7	16
い い え	27	46	44
わからない	26	30	26

4. 生徒達の地域内での行写がよくなったようですか。

	1年生	2年生	3年生
は い	4	3	4
い い え	3	6	3
わからない	9	15	19

4. 調 査

(1) 内 浦 対 生 徒 調 査

1. 町内バスはよいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
は い	16	6	10
い い え	10	12	12
わからない	10	10	5

2. 町内バスに参加するのは楽しいですか。

	1年生	2年生	3年生
は い	16	3	5
い い え	12	19	17
わからない	8	6	5

3. 町内バスになせ参加しないのですか。

	1年生	2年生	3年生
おもしろくない	6	2	1
学習がわからない	0	0	1
やっても意味がない	2	1	1
友達がいらないから	1	1	1
めんどうくさいから	0	2	1
ばかにするから	0	1	0

4. 町内バスをこれからも続けたいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
は い	18	7	7
い い え	7	16	15
わからない	11	5	0

対 父 母 調 査

1. 町内バスはよいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
は い	8	5	11
い い え	0	2	1
わからない	2	4	1

2. 町内バスのどこかよいと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
よく勉強するようになった。	2	1	0
生徒達がなかよく協力して勉強するのはよい	8	6	12
先生との人間関係が出来た。	1	3	1
生徒が理解出来たように思う。	1	2	0

3. 町内バスのどこが悪いと思えますか。

	1年生	2年生	3年生
勉強しない	0	0	0
以前とかわらない	1	2	1
さわりでばかりいる	2	1	4
時間のむたで意味がない。	0	2	2
参加しない生徒がいる。	2	4	4

4. 生徒達の地域内での行動がよくなったようですか。

	1年生	2年生	3年生
は い	3	2	6
い い え	0	2	0
わからない	7	7	7

資料」

町内バスに関する生徒の作文

町内バスについて

大森会場 一年生

「町内バスとは何ですか」と、見知らぬ人に聞かれても「まだよくわかりません」としか答えようのわたくしである。

いっしょに町内バスとは何だろう。喜んでくれる人が、この豊栄中に何人いるだろうか。来たか、来たか、マイスマ呼んで放課後になって、させる。理由があるはずともかく、理由もないのに平気で、休む人がいる。町内バスとは何かが、よくわかっていないからだろう。わたくしもその中の一入りの人である。

しかし、わたくしにとって町内バスは役に立っている。町内バスはよい復習になるのだ。よい、あきらまに成るのだ。

わかつまいるところは、いま、わからぬ所は班内で話し合う。時には、口げんかに近くなる。学習中はみんな存するのだ。

「どうして、こうなるん？ どうして？」これに対しては、長い班内で消化できる。でも、いくら考えまもわからぬことがある。一瞬、ことばがなくなる。みんな真剣な目つきで問題用紙をにらむ。「あ、わかつた。」このことばが聞くと、みんな安心したような顔つきで、わかつた人の説明を聞く。わたくしにとっては、これが一番うれしい。わからぬことが、わかつた時の喜びは大きいのだ。学校では、みんながすごく真剣になつて考え

とがズキキリと……。むしろいい問題の方があつたらしい。

町内バス 町内バス

今、目的は、はっきりしません。しかし、わたくしは人には尋ねようとは思わない。最初から答えは、聞かずに、自分のあつた体験から本当の「町内バス」を知り出そう、と思うから。

町内バス 文芸会場 一年生

わたくしは町内バスは、存続のためにあつた存在にせよしなつたのかははっきり言つてわからなかつた。疑問に思つています。

毎週土曜日に三時半からあつたが、一部の人は、バスに来ない。こんな人たちを見ると腹がたたくこともあるが、来てる人たちの中にたつた。町内バスに對して疑問に思つてゐる人もあつたらしい。罪があるから、かたがたのりから行くところもあつたかもしれないと思ふ。

わたくしだつたなんてなくいつたつたものだ。だがこのままの気持ちではいけないと思ふのだが？

しかし、町内バスはわたくしにとつたマイナスにわたくしに思ふ。わたくしたち文芸会場はわたくしが一四名ですが、バスの面でも、レクリエーションの面でも一時間三十分を楽しくすごしてゐる。

勉強ではわからぬ時は自分で考え、なおわからぬ時は班バス、でもなおわからぬと二年生、三年生に聞く。すると

疑問点は整理できるし、その一週間の復習にやるのでもイテスど
ころか、プラスにたっまっていると思います。レクレーションだっ
みんながいっしょにたっできる。

今、わたくしが一番町内バスに對して望み大きいことは、バスに來
ていない人たちが、きかぬ理由がある。理由があるというこ
とは町内バスにも悪い所、修正しなければいけない所があるのだ
から、そのような所は修正して、バスをもっといいものにす。
全校生徒が一人の欠席者もなく町内バスに出席してもらいたい
とだ。

わたくしの町内バスに對する 疑問点は自分なりに考え、解決を
したいと思う。

町内バスにたいして

内浦農協会場 一年生

私の「町内バスにたいして」はいいほうがいいと思う。その理
由は、オ一に、理由も皆いのに町内バスにこない人が一部いるこ
と。オ二に、遅刻がいつもいること。オ三に、いろいろな話し声
が多い。オ四は、バスをすわるのに、バスをしまっている所が少
ないように思える。

この四つの理由で、私はいいほうがいいと思う。それに、さ
わがかったら、まじわにしまっている人にめいわくをかける。まじ
わにしまっている人も、さわがいい人がいたら、かたくなる。そ
うするとだんだん、みんながさわがしくなり、始めよりも、もっ

とさわがしくなる。

バスが楽しくできているのは、みんなが、バスというものを、よく理解できているからだと思う。私もそうだけど。

それもあるが中には、父兄がくるので楽しくない、入ればかたされるから、気が合わない人がいるから。このようにすることで、こなし人や楽しくない人がいると私は思います。

だから、このように問題をどうしたらよいか私たちも、また、先生たちもよく話し合ったらいいと思う。

オーに、私は町内バスというものが存続するのをよく理解し、よく頭の中へ入れておくことがよいだろう。そうしたら私は、楽しく勉強できると思う。

町内バスについて

二年女子 良鎮寺会場

町内バスについての考えや思っていることは、一人一人違うと思います。でも、町内バスに出席する目標は、はっきりあると思います。それを自分によく聞かせて、町内バスに出て来ないと、なんの意味もないと思います。では、ここで皆さんに聞きますが、家庭での勉強は、どのくらいしていますか。している人もいます。していない人の方が多いと思います。この家庭学習のかわりに町内バスで、三教科やるんでしょう。いいことだと思えます。でも、きている人が、たくさんいても、それをする時どわがしから、たら向にもならないと思えます。とまうことで何のために行くかということをもっと徹底した方がいいと思えます。

町内バスについて

二年女子 旧役場会場

私は、町内バスは？と聞かれたら（町内バスはいいけれど参加するのは嫌いです）と答えると思います。理由は、行ってもおもしろくないし一生懸命やっているのからかたり、人のことを考えないで、さわいだけする人がいるからです。町内バスは、皆がバスを協力して仲良くするためにできたのに協力がなっていない。協力さえできた方がいいと思えます。そしてみんなも私も行く気になると思えます。町内バスは、協力ということが大切でみんなの意見をみんなが話し合うようなものにした方がいいと思えます。

町内バスについて

二年女子 山崎会場

私は、一年生の時、私達も町内バスに参加することになった時は、みんなと楽しく勉強が出来ておもしろいだろうなと思いました。でも、町内バスに行ってみると、勉強している時、話し合いも余りせずには話ばかりのようだった。反省会の時毎週話しことばかり言って、発表したことを守りもせず、いっも同じことのくり返しのようなどばかりをしていたようだと思う。だから私は、町内バスは、おもしろくないか、たかだかと思う。でも私は、前と比較したらだいぶバスも楽しくな、たと思う。それは、前は余り話もしなかったりと今は、自分で最初や、ておいてわからない所があると教えてもらったり、教えてもらったり、教えてあげたりすることが、出来るようになったからだと思う。

○ 私たちが1年生の時は復習バスといって、ホームルームの教室で1日に1科目、教科委員を中心に進められていた。それが1年生の3学期ごろから、部落バスとなり、途中で町内バスと名を改め、今日のようになったわけだが、すぐ、すんなりと、なったわけではない。そこには、P・Aや先生方の数知れない努力が、ひそめられているのを、決して忘れてはいけないと思う。

ところで、最近よく「町内バスの意義」について言われているが、私はこう思う。

家庭学習の少ない私達が、皆と協力合って、少しでも、楽しく、勉強ができるように、それとともに、友達関係を深めていくために、行なわれているのだ。

と。

○ 全国大会を行なうにあたって、私達三年生には重大責任があるのだが、正直言って、町内バスは、まだまだ完全なものとはいえない。そこにはバス中の態度・問題作成・集中力とリったような、あらゆる問題が残されている。このような問題を、いかにして解決していくかが、これからの町内バスへの発展につながるんじゃないかと思う。

とにかく、私たちには、リッぽにやりとげなければならぬ義務がある。それに、私たちが、卒業するまでに、前に述べた問題点を、1つでも解決しておきたいものである。これからの町内バスのためにも、この

全国大会を精一杯努力して、リッパにやりとげたり。

(内浦本覚寺・3年・女子)

○1年のころは、学校の授業が終わって、少し時間をとって、バスをやっていました。それから2年生になって、各部落に帰って勉強をするようになりました。でも、会場がたらなかつたので来ても帰ってしまう人も少なくありませんでした。

そんな様子を見ていた町内の人々が、どうにかしてあげたいという気持ちから、今の4会場になりました。だから、全会場あわすと9会場になります。9会場の中の私の出てくる公民館は、他の会場より、とっても設備がよく、それに何よりも広いのです。最初は広い公民館に少しの生徒しかきませんでした。今では、おおかたの人がくるようになりました。みんな全国大会があるときりて、心を入れかえて週1回の町内バスに参加しています。全国大会を私たちの手で成功させようと思っています。(小浦公民館・3年・女子)

○町内バスというのは、もとをいえば、私達の大浜部落が始めたことである。前に、授業の後1時間バスをしていたが、それに変わって町内バスが始まった。私は今の町内が前より楽しい。というのは、同じ部落の人達が集まって、気軽に話せたり、することもすぐまとまるからである。

しかし、町内バスを全体的にみると、バスするというよりも、今はまだ話しながらプリントをするだけで、あまり活発でない。それに、バス学習をしに来るのなら、ちゃんとした制服で、学校と同じように考えて、遅刻者も欠席者もなくしなければいけない。そういうことをちゃんと守ってから、ほんとうに土曜日の午後バス学習に行くということではないだろうか。

それにもう少しすると、全国大会があってたくさんの先生方がいらっしゃるが、私にはじをがかないようなバス学習をしていきたい。それに、話し合うということが大事なことになるので、わからなくても、みんなとしっかりとまじって話していると、少しでもわかるようになるのでは、ないだろうか。

これからは、町内バスに、どういう目的で行くのが、よく考えて、活発に話し合いの出来るバス学習をしたい。

(大浜・3年・女子)

資料6

校外自治委員長に付る

私が校外自治長に付る早、半年が過ぎようとしてゐる。去年までは、交通安全だけだったが、今年は、町内バスも加わった。そして、全国の先生、又父兄の人達の研究会の会場とも付った。全国大会とも付ると、いろいろ忙しい。あまり私が、夢中に付る校外自治の仕事をやったので、私に対する非難の声もあった。私の前で、わざと、バス大会付んかせんまもええのに、おもしろ付あ...と言つて逃げる人まで付付人付付た。こんな中で私は、もう、何とやらやめようと思った。父に知れたので、先生に言つてくたせと頼んだら私は、人に負けるのがキライじゃうが、ここまてくじけたら我の負けたと同じぢや。やろうと思つたら最後まてやり通せ。人は悪口ば、かり言ふ人だけじゃ付のかわり父や先生にはげまされ、私の心の中から、やめようと思ふ気持ちは、いつのまにか消えていた。そして、私の責任の重大さが、全国大会が近づくにつれて、大きく付つて行く。後、昨日、まだ、中学校の生徒の中には、全国大会だ、やろう...というのは、まだ、ほんの一部の人達だけだ。この昨日で、いや、後入日で、私は、皆付を、全国大会賛成の意見にひっぱつて行か付くまは、付ら付の責任の重大さを感ずる。そして、校内だけでは付く、町の人達に、全国大会に、協力してく小の事を私は望む。私の責任は大き

け。でも私は、そんな事に負けまい。私は皆存から選ばれた校外自治長だから。そして、全国大会が失敗に終わっても、私は、くいつは存け。一生懸命、自分の納得いくまでガンバッタんだから、あと八日間、最後のゲストをつくらだけだ。そして、全国大会が終わったら、今度は、所内バスを発展させる義務がある。私の責任は重大だ。けれども私は、そんな責任の重さに負け存け！

バス長に存マ

良鎮寺会場三年生

良鎮寺の会場のバス長に存マ、早くも夏休みを迎えるが、ここぞ、一息してはけら水存け。今、一息してけたら、とんぞ存けことに存る。全国バス大会の日まで、あとだけだけ一前間である。僕が、バス長に存マ、まだ未熟であるが、今まで、気づいた事、又反省をしてみると、残念であるが、本当のことをいって、非常に悪い点が存け。悪い点を全部あげてみると、さりが存けの事特に悪いと思ったことを、あげてみよう。それは、バスが壊れると、僕ののどが、痛く存マ、声も、かすれることである。これは、けっして、大げさな存け。こんなバスの状態が連続すると、僕は、本当に情け存け。だから、こんな日は、バスが壊れると、本当に呆れとする。こんな調子のバスは、たぶん、良鎮寺だけな存けと思うが、学校の先生達も、必死に存けるのは、あたり前だと思う。バス長としての尤も存喜びを得る時というのは、僕だったら、やはり、僕の指示に本心を燃マく存るという時だ

ろう。これと大ぶんばくだけとなく、他の会場のバス長さん
と、同じだろう。本当のバス体勢を作るには、皆様が、本気
で考える事だと、僕は思う。もし、皆様が本当のバスを行
った時というのは、本当に、すばらしいものだろうと僕は、
思っている。

バス長に会った

立花会場三年生

私は、バス長に会った。皆様が何を期待しているのか疑問に思
った。最初は、皆様が、何をするのか、おもしろく感じから、私に話
のたかと思っただけだ。でもバス長に会った良かったと思う。まず、
出席率がだいたいよく、バス中のバス長と会ったの自覚が
出て来た。バスに行くのめんどろくなく、でも自分の思うま
まに会った。たり、皆様が静かにして、水がたりしたらバス長に、
会った良かったと思った。でも、今までは、出席率100%
一人から行くだけだ。私達の会場は、大変人数が少なくて、
でも、バス中は、大変な1つ。数(1つ)と言うより、忘れ
た所を、思い出して皆様に聞いたりして、何せかバス中に
した事は、忘れただけ。そんな理内の一人とあるし、
会場のバス長に会った良かったと思う。会場の皆
様もよく僕の言った事にしたがって、
人々も、それより私は、バス長に会った、自分自身を
自覚出来るという事は一番私にとっ
て、プラスに会った事だと思
う。

副バス長として、出欠をとったり、ハンチを持って行ったり、日記を持って行ったり、バス長のついでには、バスの可成りを行ったり、このくらいの仕事しかしていません。副バス長としての役割を自覚したのである。今年度は、全国バス大会もあること、市内バスと見まどうとうたから、成功するように、私も頑張りたいと、思っています。

バスから何を学べるかという点も、私達全会員のバス長、副バス長が中心になって、みんなに教える。やらなければ、やらなければ、うに思っています。そこを皆が理解してくれれば、よりよいバスが生まれくると思っています。

町内バズの教科委員になって

一年生 内浦農協会場

私は今、英語の教科委員になっています。この教科委員の仕事は、英語などがある週に、その問題用紙をもって帰り、みんなにくばってやってもらったり、何週間目にか一度まわってくる。プリントを作成するような仕事をやっています。

私は一年生だし、兄も姉もいないので、町内バズのこと、ぜんぜんといていいほど、知りませんでした。しかし二度目の町内バズのころからは、だんだん慣れてきて、教科委員の仕事も、バズのやり方も、なぜバズをするのかも、だんだんわかってきました。それから、初めての問題用紙、作成当番が、まわって来ました。放課後残って、先生から、教えられた問題を、ガリ板でかいていると、思ったより多くの時間をかけ、てこずりました。このとき、私は、「町内バズさえなければ、こんな時間をとらなくて済むのに……」と思いました。でも、このころになって、その考え方は、あまり良くないと考えなおしました。それは、もし、バズがなかったら、私達は、家庭学習も、あまりまじめにしなかったと思います。みんなで、助け合うこともあまりしなかったと思います。だから、私達には、バズは大切なものです。し下かって、この教科委員も町内バズのため、たいへん大切な、仕事だと思っています。私だけでなく、他の人も、私と同じように教科委員の仕事を、たいしてやって来た人は、数多くいると思いますが、これが

らは、私達を良くするために、この学校を良くするために、バス
を大切に、教科委員の仕事に、まじめに、とりくみましょう。

二年生 旧役場会場

私は、教科委員として、くやしいうことが一つあります。それは、私達教科委員が一生懸命プリントを考えてやっているのにそんなことは、気にしないで、一時間三十分という時間をプリントをせずに遊んでいるということです。どなたも町内バスの問題にいい問題を作ってみても、やらなければ教科委員は、バカにされるだけだから教科委員の仕事もやりにくくなり気持ちになります。町内バスの教科委員は普通学校でやっている教科委員とちがって、プリントを作らなければならぬからその問題を考えるのがむづかしい。それなのに、みんなは、そんな私達の苦勞もしらないうえにみんなは、遊びます。そんな時は、くやしくなって、“静かにして下さい”と叫んでおきます。そして、三年生とかそのたの人たちから、やらないうえにまだとかやかましいとかいいます。そういうふうなことをいわれたら教科委員なんかやめたくなります。町内バスの教科委員のことも少しは考えてバス学習してほしいと願います。

二年生 大塚会場

私は、二年生になって国語の町内バスの教科委員になった。

二年生にあって最初の町内バズに、国語があり大漢が問題をつくる当番にあっていたので問題をつくりました。しかし、問題をつくらうにも、漢字ばかりもあまりよくないので文法的な問題も作らなくてはなりません。学習ノートを写して問題を作っても、みんなその問題をやるのだから、ねうちはありません。それで私がみんな考えて作らなくてはなりません。でも今から、考えてみると、自分の力で問題を作らうと思えば、長い時間かかりましたが、それだけの力は、ついていたのではないかと思います。これから、やはり、今まで通り、自分で問題を作らうと、内容の深い問題をつくらうと思います。

三年生 内浦農協会場

私は国語の教科委員になった。でも私はベックおもしろ責任を感じた。それは、ただ、もって帰って、みんなに配るだけだからそれだけだからでしょう。

それから、私はまだ、プリントを、作ったことばかりなのでわかりませんが、他の人が字がわからなければ、プリントをもってきて、すてい、ない私は、ほんとかいてあるか読めないので、書く人はもっときれいに、ねりに書いてくれたらと、よく思います。でも、さいさい部活で、プリントを作ったばかりか、紙に付たのは、たしかですが、前に言ったような気配もあることですが、それから最初書いてあったように、私は、あまり互位

と思いは、これは、皆月が、教科委員に任られたから、この
事を、少しあると思はますが、私は、私月以下、自分のさわり地
大事に一生懸命、やっまで行っつてます。私は、この事を、皆
が教科委員に、私達の所任に任られたら、これは、とっま
で良い事だわーと思はました。

町内バスに付いて 二年男子 旧後場会場

なぜ、町内バスをやるのか？これは、家庭学習が、できなければ
とから、これを初めたいのだからと思はただけかと思は。後は、こん
なえらそうな事は、いえない。町内バスの目的は、家庭学習をさ
かんとし、家庭学習を助け、その事によつて、学校での授業を助
け進める事にあるのは、ないかと思は。しかし実際これができ
ていなければ、バスを走らしたければ出席しても家庭学習ができてい
やっでいる人は、ほんの一部であらう。そのため学校での学習が
出来なければいけません。だから本当にかつたのは、まじめにや
つて人だけバス中での進捗は、宿題かドリルができていなければ。
だから町内バスまでいなければ、とんがことか、できなければいけません。
レクリエーションをやる、レクリエーションをやるかわりに、どんな
事どう解決したうよいかなど話し合つたら良いと思は。最後
にやる反省は、やっでしからなければ。反省しても本気でいなし、
まじでいなければから。

町内バス面接 (資料. 7)

被面接者 氏名 N.I (女) (学. 年. 組 2 B)
会場 お宅
成績 その他
中の上. 性格は明るい

1. あなたは何故町内バスをやっているか知っていますか。

知っている。勉強するため。

2. あなたは町内バスにすすんで参加していますか。(持参物等)

はい。筆記用具 教科書、ファイルなどを持参。

3. あなたの友達は何内バスにすすんで参加していますか。

はい。さかあつていく。

4. 町内バスは楽しんでますか。

はい。時にはおもしろく、なともある。

5. 町内バスはためになりますか。

なる。皆と一緒に勉強できるから。(勉強が^{not}おもしろいからなる) なると思ってる

6. 町内バスの時間・場所はよいか。

時間はよいか。場所はよくない。→ 友達全部と同じ会場

7. 父兄・教師の出席をどう思いますか。

きていない → きておかない。

8. 町内バスで勉強するのはよいか。(レクレーションをやる等)

たまにはレクレーションをやりたい。

9. 町内バスでやった問題を家に帰ってやっていますか。

やらない (試験の時やることもある)

10. 町内バスでどんなことをやりたいか。

別にいい。今のままでいい。①道路掃除はどうか
→人のとろまひやろのはたいかい。

11. 町内バスを自分達の手でやていこうという気はありますか。

ある。みんなが協力してやればいい。

12. 町内バスに参加するようになってあなたの成績はあがりましたか。

同じ。かわらない。

13. 町内バスに対してお父さんお母さんはどう言っておられますか。

いいと言っている → 勉強するから安心。

14. 町内バスをやてよそのお父さんお母さんと気軽に話せるようになりまし

いいえ。父兄が出席してくれないから。

15. あなたの近所の人には町内バスがあることを知っていますか。また町内バスに対して、どう言っておられますか。

町内バスは知っている。が別にいんともいっていい。

16. その他 (家庭学習、テレビのこと等)

① 家にかえるといれくらゐ勉強する?

② まあ、平均したら30分以内

③ テレビをとれくらゐみる?

④ 3~4時間

⑤ そのわりに成績が……ね。

⑥ 試験の前には一生懸命やります。

⑦ マンガがばんかほ?

⑧ よくみる

⑨ 自分の部屋がほしい。

はいから。

教師の気づきノートより(資料8)

3時開始であるのに、3時10分前位まで残っているものあり、早目に帰宅させるよう土曜日教師のだから放送してはどうか。今日は2年生の遅刻が目立った。

(父兄との懇談)

①生徒が1年前とくらべて格段におちついてきた。特に3年生の心がまえがよい。目前の進学の気持ちも1・2年生とはちがうと思うが、大へんより。

②バス学習というものが、少しずつ理解が深まったし、教えあうことでの人間関係、社会性をやしなう場としてもすぐれている。

③バスに4回目の出席であるが、はじめは親がくることを気にしていたが、当番制が理解されてからは、とかくいわなくなるとし、今日当番だという事も前日子どもが知らせてくれた。

④こうして、何回か内浦の子どもたちと顔をあわせ、世話をするだけで、道路上で他の子どもにあって何か話しかけたり注意しても素直にきいてくれるような人間関係ができるのもバスの効果であろう。

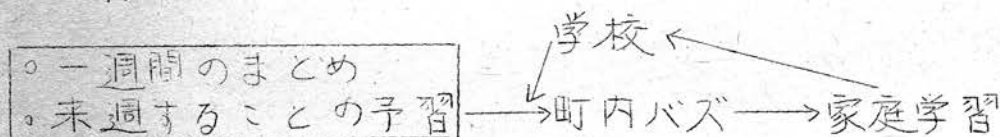
⑤生徒の状況

昨年までは先生への依存心が生徒にも父兄にも強かったが、今日では教師の質問はほとんどなく見守ってもらっていることだけに安心感を持ち、疑問はグループや隣りと聞きあう、又、一人調べの姿が多い。大いに結構と思う。

(内浦 農協会場)

はじめのころはよく学習したと思う。ただ、後半やはりだれる。たたみの上に寝ころがってやってみたりしている。学校・町内バス・家庭学習が一つのサイクルとなるよう町内バスを工夫しなければならぬと思う。今のようにならぬ問題をやる、というだけでは、家庭学習につながらぬの

ではないか。学校の復習ということにはある程度なるが、町内バスを家庭学習につないでゆくためには町内バスを学校の予習、復習の場としなければならぬのではないか。そのためには今のようにただ単に教科を決めて問題をやるというのではなくて、一週間のまとめ、来週の学習事項の予習課題というようなものをもち寄る必要があるのではないか。だから町内バスを次のようにしてはどうか。



(大浜農協会場)

三年生は比較的いいと思われる。班内で適当な話し合いとまた自分で考える個人学習が使われられている。反面、1・2年生は問題はやっているのだが、言葉になることはテレビの話し等。教科に必要でないものが多く、まとまりにも欠けている。

まず問題をよく読む。

↓
自分一人で考える。→調べる。

↓
自分の意見・考え方の発表と友・班の考え方と比較。

↓
もう一度自分で考える。→たしかめる。

(小浦 お宮会場)

教科委員の責任感が少なく、おくれてきたり、こながったりするのでも問題がなくて困る。一度教科委員をあつめて訓練する必要がある。

遅刻者・欠席者が目立つ。これをどうするか考える必要あり。

- ・やはりさわがしさが目立つ。
- まあまあまじめであった。
- ・レクレーションをとり入れたが、ルールを守らない生徒が多い。しかし結構、楽しそうであった。
- ・やはり町内バスに対する積極的なとりくみの姿勢がない。
- ・ファイルを全員にくばったのでプリントを捨てて帰る生徒はいなかった。

(小浦 良鎮寺会場)

- 集合時間が15分おくれる。2時15分開始。問題配布が始まるが二年生の物化の教科委員が来ていない。呼びに行こうと道路まで出てみると二人が問題をかかえてやってくる。音量はかなり小さくなったし、殆んどのもものが学習に取り組めるようになった。バスについて学級でその問題を取り上げ、必要性、進め方について意見交換してみてもはどうだろうか。
- 会場数をふやし、一会場あたりの人数を削減するともっと本物に近づくと思う。
- 父兄の態度が少々おそまっのようだ。我々の働きかけの努力不足もあろうが、もう少

し、わが子のことだけでよいから真剣に考えてくれるとよいと思う。
子どもは周囲の手だてが適切であれば必ず伸びる。

(小浦 公民館会場)

- ・1年生の社会の問題を忘れていた。このため中間テストの試験勉強をさせた。
- ・教科は英・国・社であったが、リクレーションについての話し合いのため英語を省略。
- ・話し声(雑談)が多い。また、中には問題用紙をまるめて投げる生徒もいる。
- ・バズの進め方を掲示した方がよいようである。

(小浦 旧役場会場)

資料 9

昭和 年 月 日 ()		天気	記録者
父出席の者	氏 名		教科 理由
欠席			
遅刻			
学習の反省	問題は適切だったか		
	個人学習はよくできたか		
	バスはうまくできたか		
	答あわせはうまくできたか		
態度の反省	その他		
	雑談はなかったか		
	すすんで発表したか		
	班内でよく協力したか		
町内バスに対する意見感想	その他		
各自のこと	氏 名	ひ と こ と	自己評価

町内バス父兄観察ノート(資料)

(1)形式

月	日	父兄名
はじめの方	今日の集まり方について	
	遅刻者について	
	バス長の号令について	
	勉強のとりがかりについて	
班内での活動状態	個人学習の態度について	
	話し合いの態度について	
	答えあわせの態度について	
	雑談はなかったか	
	発表態度について	
協力のしがたについて		
反省会	発表態度について	
	気づいたこと	
	今日の欠席者	
町内バスに対する意見感想他		

10) (2)書いてあること。

。必要なことは、大いに話し合
所がない様に話し合ったらよい
きな声で話したり、笑ったりす
ると思えます。

。今日も先生は不在でしたが、
たと思えます。さう雑談の多い
間30分といふ長い間です。仕
ががんばって下さいね。

。物化の時間に漢字を聞かれ
た。

。開始時間 全員がよく守り、
がすんだ頃になると、雑談が始
初めから終りまで静かに熱心
あげました。

。欠席者3名。以前に比べ、学
たが、あまにも私語する人が
上級生の方をお手本をしめして
の大切な時間を自分のものにし
受けられました。他のグループ
る事はやめ下さい。バズ学習
どうかがんばって下さい。毎週
すが、皆さんはどの様に思われ

。各班とも前回と同じような内
たことを実行して下さい。初め
少々さねがしくなる。最後まで
て下さい。

資料 11 生徒の作製した町内バスの向題

1 (英語) —— 1年生の向題より

1 次の単語の意味を書き、3回練習して下さい。

① book

()

② dog

()

③ dooff

()

④ map

()

⑤ hat

()

⑥ cap

()

⑦ bag

()

⑧ park

()

氏名

--

2 英文を日本語に 日本文は英文にはおしなさい

What is this?

What is it?

Is this a hat? No, it is not.

It is a cap.

Is that your bag or my bag?

It is your bag.

① それは、オルガンです。

② それは、ピアノですか。

③ それは、何ですか。

④ それは、うで時計です。

一 次の漢字をかき入れよ。

むかし

どうよう

あひむし

まつむし

せんりゆう

せせ

しい

二 次の文の主語を「」に書きだしはさい

みごとな花がさいだ」

西の空は、まっかに染っている

外国にいる兄もたいへん元気です

今日も雨がしとしと降っている。

机の上には本が置いてある

4 (国語) — 1年生の問題より

三 次の文の述語を「」に書き出しなさい

夕立のあとの風は涼しい」

ありのままに書くことがよいことです。

四 次の文の「」線の修飾語が修飾して語の「」連用修飾語かを「」に書き入れなさい

この大宮市はむかし、永川村と呼ばれ、

いん、きひしい村で、大きな森の中に

ぼつんと永川神社がたつていた。

イ ()

ロ ()

ハ ()

五 次の「」に適當な助詞を入れなさい。

私「」家「」帰るとすぐ、大「」よ

うお「」見にいって

氏名	
----	--

5(代数) — 2年生の問題より

1. 次の式の計算をしなさい。

(a). $3x - 2y + 5x - 6y$ (b) $(2x - 3y) - 5(x - 2y)$

(c). $xy - 3y + 2xy - 5y$

(e). $\frac{1}{2}(2x - 4y) + \frac{1}{3}(3x + 6y)$

(f)
$$\begin{array}{r} 3x - y \\ -) 2x + 5y \end{array}$$

(g)
$$\begin{array}{r} a - 3b \\ -) 2a - 2b \end{array}$$

(h) $x^2 \times x^5$ (i) $\frac{1}{2}a^2 \times 4a$ (j) $3ax \times 2ax$

(k) $(x^2y)^3$ (l) $6a^2 \div (-3a)$ (m) $(3x^2)^2 \div x^4$

(n) $x^3y^4 \div (-xy^2)$ (o) $\frac{1}{2}xy \div \frac{x}{3}$

2 次の式の値を求めよ。

(1) $x=1$, $y=-3$ の時

$$x^2 - 3y^2 - 3(x^2 - y^2)$$

(2) $x=-2$, $y=-1$ の時

$$x - 3y + 2(y+x) - 3(2x-y)$$

氏名	
----	--

2(社会) —— 3年生の問題より

① 貨幣の役割を書きなさい。

② 次のことについて調べなさい。

信用経済

公定歩合

③ 日本銀行の仕事について教科書を参考に、話し合い、まとめて下さい。

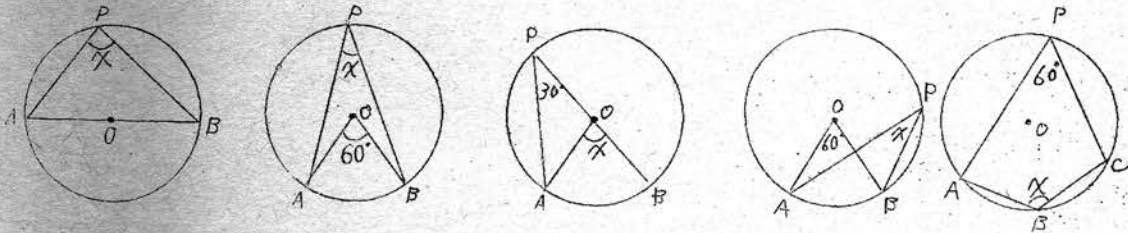
④ 公定歩合を上げると通貨量が減る理由を考えて下さい。

⑤ すんだら、昨日の新聞に出ていた事(何んでもよい)について
報告して下さい。

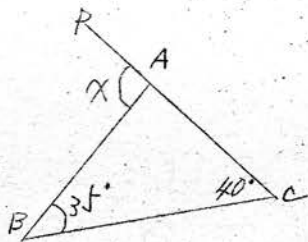
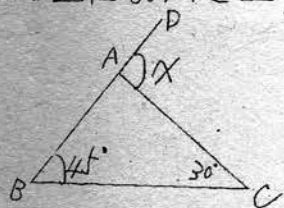
氏名	
----	--

3 (幾何) ——— 3年生の問題より.

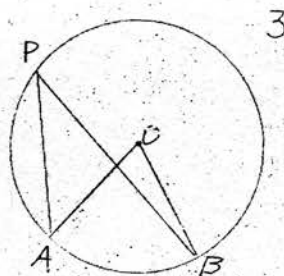
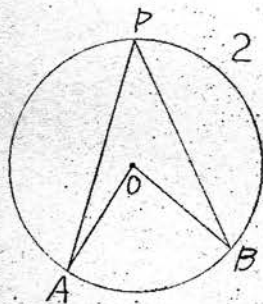
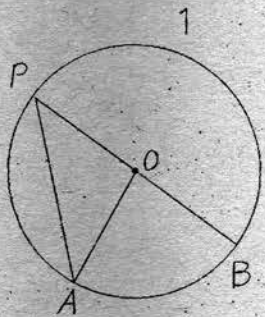
① 下の図で $\angle \alpha$ の大きさを求めよ



② 次の図において $\angle \alpha$ は何度か



③ 次の図において $\angle APB = \frac{1}{2} \angle AOB$ となることを証明して下さい。



④ 教科書の練習問題をやってみましょう

Name _____

	大 浜	立 花	山 崎 斎	小瀬公民館	
バス長	3C 西庄 3A 炭本	3B 木谷 2C 天下	3A 多賀谷 3B 道法	3D 益田達 3A 益田久	
一 年	国	D 上中村	A 山本孝	A 北東- B 小越博	C 西中和 B 寺田心
	社	B 木下	B 山本富	C 黒田真	B 藤原満 D 益田勝
	代	C 向	C 竹下	D 北瀬元	A 北藤、 B 北倉経
	幾	D 大川	C 竹下	D 北瀬元	C 益田邦 B 西林道
	生	B 弓場 B 北森	A 西藤	C 北橋小	C 西中邦 A 北中-
	物	B 山科	A 西藤	B 座床	D 北恵良 B 北田松
	英	A 田中 D 浜本	A 山本孝 B 山本富	A 仁田真 C 北瀬	D 石橋 A 北恵心
二 年	国	A 弓場	A 井上 D 石本啓	B 中本丈 C 道法中	A 西浦幸 D 西中万
	社	B 倉本	C 天下	A 中本二 A 仁田千	A 北田誠 B 西万省
	代	B 石本	C 石本美	C 柿本 B 横畑 西本	A 北真子 D 北内信
	幾	A 大林	C 石本美	C 柿本 B 横畑 西本	A 北森元 D 西倉栄
	生	B 炭本	C 多武保	A 道法光 A 北瀬 黒田	C 北恵二 B 北本昌
	物	A 田中	C 多武保	A 道法 A 北瀬 黒田	B 西林孝 D 北山本
	英	C 国広	D 川脇 D 西藤	C 多賀谷裕 D 西庄美	C 北森久 B 西林道
三 年	国	A 炭本	C 川脇	B 道法伸 D 岡本	A 益田久 A 北木美
	社	D 中村+	B 隠地	A 多賀谷美 B 黒田	A 西中和 C 西井敏
	代	C 関治谷	C 川脇	C 道法豊 B 道法涼	B 西林清 C 北谷彦
	幾	A 弓場	C 川脇	B 北瀬三、 B 道法涼	B 益田達 C 北倉宮
	生	C 猪尻	B 木谷	C 道法- D 下地	A 北谷在 D 北中心
	物	C 猪尻	B 木谷	C 道法- D 下地	C 北井 B 北田井
	英	B 中村里	B 木谷	D 中本佳 B 道法井	B 北森悦 B 西中端

小浦 お宮	小浦 良鎮寺	小浦 旧役場	内浦 農協	内浦 本覚
3A 北本段 3C 西中	3D 北東良 3C 北倉 ₂	3A 小林 ₂ 3D 高橋 ₂	3B 梶山 3C 賀儀山	3C 竹川 3C 八重
A 北森 C 北橋 B 西川	A 西中 B 北岡 C 北崎	A 西藤里 D 北尾 ₁	B 小早川 A 秦岡	A 西岡 D 梶山
B 西村 B 北森	B 北倉 C 北井 D 西宮	D 向井 ₂ D 北橋	C 八重垣 C 古本	B 高橋 C 八重垣
A 南 D 北田 D 西藤	A 北木 ₂ A 北 ₃	C 北真 ₁ C 西倉 ₁	B 小桜 C 八重垣 _和	C 本岡 _照
A 北升 A 藤原	D 北倉 ₁ C 西田 ₂	B 西藤 ₂ C 北井 ₁	A 秦運 A 高野	B 小桜 _小
A 北浦 C 北升	A 西浦 ₁ C 北田 ₁	D 北山 ₁ C 高木 ₂	D 秦 ₂ D 小桜	A 小桜 _中
D 得田 D 北浦	A 北倉 _良 D 北倉 _{良成}	A 西藤 ₁ C 西倉 ₁	B 本岡	D 大成 _由
A 北山 A 西中 A 北木	B 北井 B 西村 B 北	D 西倉 ₁ D 北尾 ₂	B 秦 B 秦岡	C 河田 D 中西
B 西井 B 北浦 B 北浦	A 北倉 _洋 C 西藤 ₁	A 西永 _良 C 西岡 ₁	B 八重垣 _伸 C 西川	C 高橋 C 八重垣 ₁
A 西浦 C 北木 C 北北 ₁	A 鷹橋 ₂ D 北崎 ₁	D 西明 _志 C 西永 ₁	A 竹下 A 秦岡 D 小桜	B 大成 _東 C 川本 C
B 北野 D 北林 C 藤原	A 北倉 _武 A 北田 ₁	D 北井 _改 D 北崎 _清	B 小桜 _輝 D 大成 C 高橋	B 西村 D 梶山 ₂
A 北倉 D 西川 A 北外	D 北森 ₂ A 北井 _忠	D 北井 _乃 D 北内 _里	B 高橋 _悦 B 梶山	A 八重垣 B 高野 B
B 南 D 北瀬 B 西林	B 北本 _和 B 西中 _和	B 北山 _正 B 向井 _重	D 高野 D 高橋	A 大成 _和 C 大成 ₁ C
D 北倉 C 北倉	C 北浦 ₁ D 北林 _起	A 西川 _悦 D 西川 _清	B 小桜 _信 D 高橋	A 秦 D 大成 D 北
B 安迫 B 北林	A 北田 _真 A 北井 _秋	B 北山 _美 C 北瀬 _美	A 竹下 A 秦岡 D 小桜	A 大成 _照 C 秦 D ₁
D 北橋 D 北森 D 西道	D 北東 _良 A 北尾 _智	A 北東 _徳 D 北内 _利	A 梶山 ₁	A 大成 _明 D 大成
D 北瀬 C 西野 D 西林 C 北浦	D 北中 _美 D 北森 _正	C 西藤 _清 A 北瀬 _美	C 賀儀山 A 高橋	B 大成 _美 D 大成
A 北田 B 北田	A 北川 ₂ C 北井 _義	A 菊本 _哲 C 北井 _長	B 小桜 _浩 D 灰原 _利	D 梶山 ₁ D 小本
D 北瀬 D 西林	D 西中 _美 B 北岡 _美	D 西野 _和 B 北尾 _武	B 八重垣 _和 B 梶山 _取	A 川原田 B 秦
A 北本 A 北林	A 西宮 B 西中 _秀	C 北井 _佐 A 北真 _武	A 八重垣 _敏	A 八重垣 _助
D 得田 A 西宮	D 西浦 ₁ D 北倉 ₂	D 高橋 _直 C 菊本 _美	C 八重垣 _純	C 八重垣 _子
A 北倉 C 西中	C 北倉 _久 D 西宮 _清	C 高木 _良 A 小林	C 灰原 _秀 C 高橋 _朝	A 大成 _義 C 丁

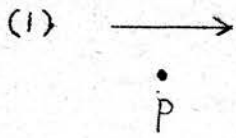
町内バス教師ローター表

S. 47. 4. 22

	大浜	立花	山崎奇	内浦農協	内浦不交	小浦公民館	小浦良鏡	小浦旧役場	小浦お宮
4/22	清田	井原	底押	鎗野	林	松尾	望月	荒田	田中
29	榎	教頭	道法	寺田	土井	吉川	大成	橋浜	望月
5/6	清田	井原	底押	鎗野	林	山根	望月	大背戸	藤田
13	榎	教頭	道法	寺田	土井	松尾	大成	荒田	田中
20	清田	井原	底押	鎗野	林	吉川	望月	橋浜	望月
27	榎	教頭	道法	寺田	土井	山根	大成	大背戸	藤田
6/3	清田	井原	底押	鎗野	林	松尾	望月	荒田	田中
10	榎	教頭	道法	寺田	土井	吉川	大成	橋浜	望月
17	清田	井原	底押	鎗野	林	山根	望月	大背戸	藤田
24	榎	教頭	道法	寺田	土井	松尾	大成	荒田	田中
7/1	清田	井原	底押	鎗野	林	吉川	望月	橋浜	望月
8	榎	教頭	道法	寺田	土井	山根	大成	大背戸	藤田
15	清田	井原	底押	鎗野	林	松尾	望月	荒田	田中
22	榎	教頭	道法	寺田	土井	吉川	大成	橋浜	望月
29	清田	井原	底押	鎗野	林	山根	望月	大背戸	藤田
8/5	榎	教頭	道法	寺田	土井	松尾	大成	荒田	田中
12	清田	井原	底押	鎗野	林	吉川	望月	橋浜	望月
19	榎	教頭	道法	寺田	土井	山根	大成	大背戸	藤田
26	清田	井原	底押	鎗野	林	松尾	望月	荒田	田中

平面図形 — 図形の移動 —

○ 平行移動

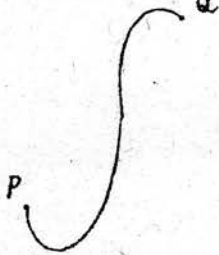


○ 点 P を () の方向に () cm 移動したら P' にもどる。

(2) 平行移動とは何か。

○ 平行移動は () と () が決まれば、それをおこなうことができる。

(3) 曲線図形を平行移動 (\longrightarrow 5cm)

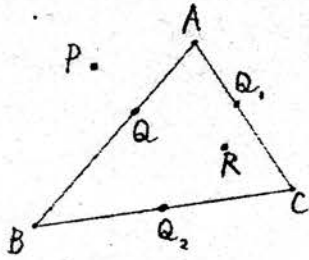


(4) 線分を平行移動 (\longrightarrow 5cm)



1年 組 番氏名 ()

(5) 三角形を平行移動 (\longrightarrow 5cm)



- (1) 頂点 A, B, C は
- (2) 外部の点 P は
- (3) 辺上の点 Q, Q₁, Q₂ は
- (4) 内部の点 R は

[練習問題]

○ 次のいろいろな図形を平行移動せよ。 (\longrightarrow 5cm)

